

令和 2 年度漁港漁村における交流を通じた
活性化検討プロジェクト調査委託事業

調査報告書

令和 3 年 3 月

水産庁漁港漁場整備部防災漁村課

目次

I	事業の概要.....	5
	(1) 事業目的.....	5
	(2) 事業実施フロー.....	5
II	事業内容.....	6
1	漁港漁村に係る新型コロナウイルスによる影響緊急調査.....	6
	(1) 調査の概要.....	6
	(2) 調査の結果.....	7
	1) アンケート調査結果 単純集計.....	7
	2) アンケート調査結果 クロス集計.....	27
2	「魅力ある漁港漁村のコンテンツ」に係る調査.....	48
	(1) 調査の概要.....	48
	(2) 調査の結果.....	50
	1) (一社)気仙沼地域戦略 (宮城県気仙沼市).....	50
	2) 田尻漁業協同組合 (大阪府田尻町).....	52
	3) 株式会社ゲイト／須賀利渚泊推進協議会 (三重県尾鷲市須賀利地区).....	53
	4) 一般社団法人家島観光事業組合／家島諸島都市漁村交流推進協議会 (兵庫県姫路市).....	55
	5) 宗像鯨の会 (福岡県宗像市).....	56
	6) かまえブルーツーリズム研究会 (大分県佐伯市).....	57
	7) 利尻地区地域水産業再生委員会 (北海道利尻町、利尻富士町).....	58
	8) 歯舞漁業協同組合 (北海道根室市歯舞地区).....	59
	9) 太地町漁業協同組合 (和歌山県太地町).....	61
	10) 魚津漁業協同組合 (富山県魚津市).....	62
	11) 漁業と観光の連携促進協議会 (三重県鳥羽市、鳥羽市観光協会、鳥羽磯部漁業協同組合).....	63
	12) 株式会社まちづくり小浜 (内外海地区活性化プロジェクト推進協議会).....	64
3	漁港漁村活性化基本構想の策定.....	65
	(1) 漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想の作成.....	65
	(2) 漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想.....	66
	(3) 漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想概要版.....	114
4	情報発信.....	119
	(1) シンポジウム実施概要.....	119
	(2) シンポジウム実施結果.....	124
	(3) 資料.....	152
5	漁港漁村における交流を通じた活性化検討会の設置.....	157
	(1) 検討会実施概要.....	157
	(2) 検討会実施結果.....	158

I 事業の概要

(1) 事業目的

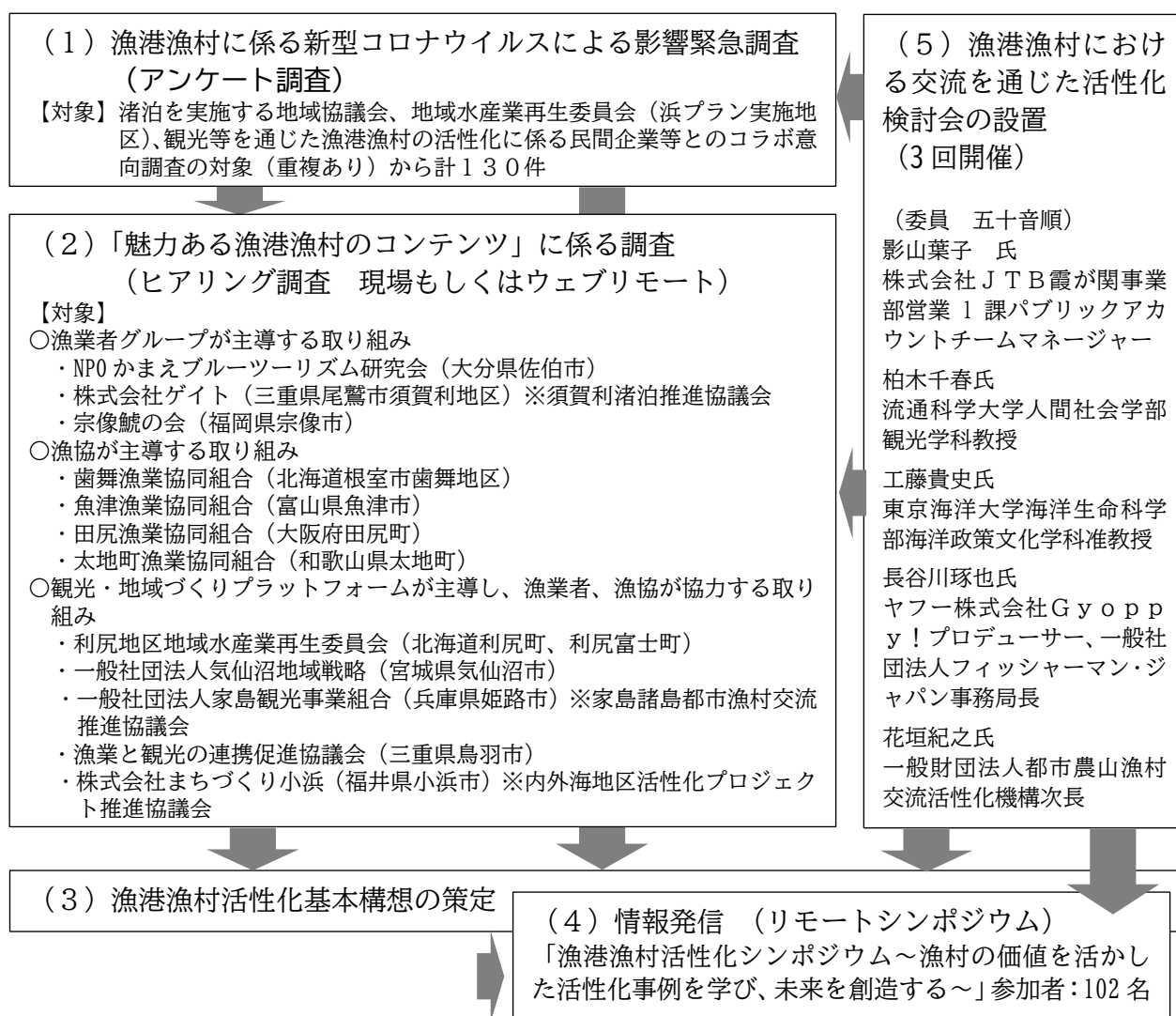
これまで、漁村における所得向上と雇用創出を図るため、漁村の魅力を生かした漁港漁村活性化に取り組んできたところであるが、更なる取組の強化を図るためには、民間事業者等との連携や民間ノウハウの活用が不可欠となっている。

併せて、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の影響により、魚価の低迷や観光客等の交流人口が激減しており、漁港漁村においても、今後、新しい社会構造“アフターコロナ”への対応が求められることとなる。

そこで、「令和2年度漁港漁村における交流を通じた活性化検討プロジェクト調査委託事業」において、漁港漁村の交流を通じた活性化を強力に推進するため、これまで効果が認められた民間事業者等との連携・マッチング、新たな交流対象の開拓による漁村活性化に向けたコンテンツ開発に係る調査や漁村に係る新型コロナの影響緊急調査等を行い、漁港漁村の活性化対策を強力に推進するための方策等を検討することを目的とする。

(2) 事業実施フロー

本事業は、以下の内容で実施した。



Ⅱ 事業内容

1 漁港漁村に係る新型コロナウイルスによる影響緊急調査 (1) 調査の概要

【調査の目的と内容】

①新型コロナウイルス感染症拡大の影響

・漁港漁村における交流について、新型コロナウイルスの影響として、緊急事態宣言下（令和2年2月から5月）とその後（令和2年6月から9月）の状況について把握するため、以下の内容についての調査を行った。

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響（水産物の販売額、水揚げ量、単価、鮮魚市や地域イベントでの販売額、交流事業の来訪者数の数的増減）
- 水産物の水揚げ・出荷・販売における影響とその対策の把握（具体的な問題点、影響への対策内容）
- 漁港や地域での交流における影響とその対策の具体的な問題点、影響への対策内容）
- 支援策の活用状況（支援を求める対象、支援内容）と更なる必要性の把握

②ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた安全安心対策や新たな取組

・今後の優先的に取り組むべき事項やそれに対する対策案を整理するため、安全安心の対策などについての取組状況として、以下内容についての調査を行った。

- 安全安心の対策（受け入れ基準の設定と発信、非接触のサービスなど）
- 新たな取組（マイクロツーリズム、ワーケーション、バーチャルツアーなど）
- 対策の実施にあたっての課題（資金、ノウハウ・知識、人材など）

③交流による漁港漁村の地域づくり

・今後の漁港漁村での交流のあり方について整理するため、地域の持続可能性として、交流事業が漁業をはじめとする地域経済の維持・活性化へ貢献しているか、また、地域の漁場環境や自然環境の保全により持続的に来訪者にとっての魅力を持ち続けられるか、食や祭礼などの文化の維持活用につながっているか、これら観点について評価と対策についての検討を行うための現場の状況を把握した。

- 組織運営について（運営体制の確保、資金確保、戦略や計画、マーケティングなど）
- 地域との関連（地域内調達、雇用創出、生活環境への配慮、歴史文化の伝承・保全、自然環境への配慮など）

【調査対象】

調査対象は、渚泊を実施する地域協議会、観光等を通じた漁港漁村の活性化に係る民間企業等とのコラボ意向調査の対象（重複あり）から計130件

※本アンケート調査は漁港漁村における交流活性化に関連して聞いており、交流の担当者からの回答になっております。

【調査方法】

対象者へメールでのアンケート送付及び回収。必要に応じて、内容の電話での聞き取り調査を実施した。

(2) 調査の結果

1) アンケート調査結果 単純集計

【回答結果】

発送数：130 件

回答数：57 件（回収率 43.8%）

※うち、漁協名での回答 21 件（36.8%）、行政名での回答 11 件（19.3%）、他 25 件（43.9%）

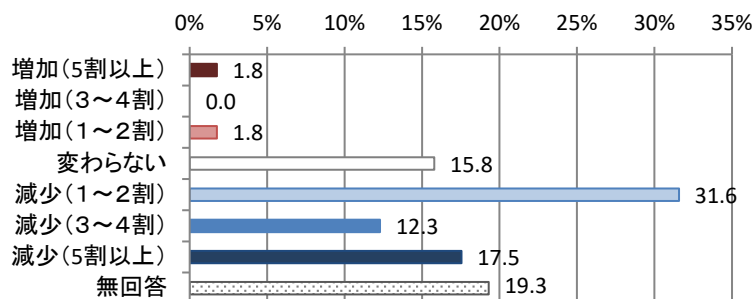
【I 貴地域での新型コロナウイルス感染症拡大の影響について】

(1) 水産物の販売額（前年同期と比べて）

「減少」と回答した割合が高く、特に令和2年2月から5月において、「減少（5割以上）」の割合が高い。

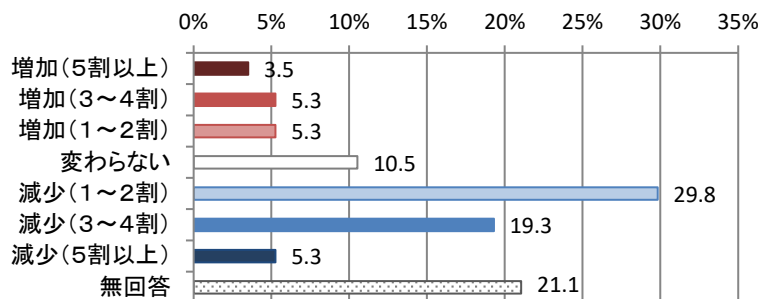
■令和2年2月から5月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	1	1.8%
増加（3～4割）		0.0%
増加（1～2割）	1	1.8%
変わらない	9	15.8%
減少（1～2割）	18	31.6%
減少（3～4割）	7	12.3%
減少（5割以上）	10	17.5%
無回答	11	19.3%



■令和2年6月から9月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	2	3.5%
増加（3～4割）	3	5.3%
増加（1～2割）	3	5.3%
変わらない	6	10.5%
減少（1～2割）	17	29.8%
減少（3～4割）	11	19.3%
減少（5割以上）	3	5.3%
無回答	12	21.1%

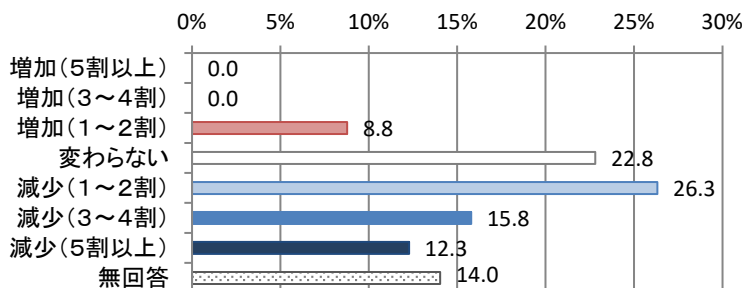


(2) 水産物の水揚げ量（前年同期と比べて）

令和2年2月から5月と令和2年6月から9月のいずれにおいても、「減少（1～2割）」の割合が最も高く、「変わらない」が次に続く。「増加」と回答した割合は少ない。

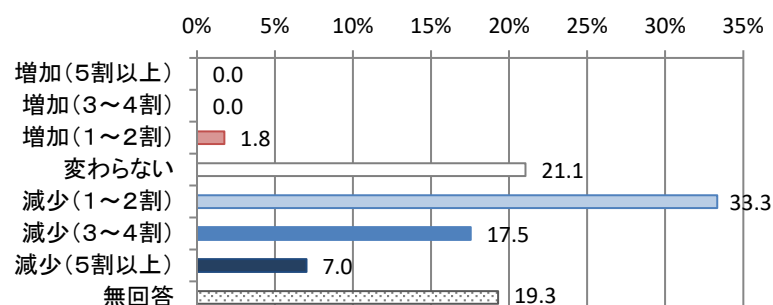
■令和2年2月から5月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	5	8.8%
変わらない	13	22.8%
減少（1～2割）	15	26.3%
減少（3～4割）	9	15.8%
減少（5割以上）	7	12.3%
無回答	8	14.0%



■令和2年6月から9月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	1	1.8%
変わらない	12	21.1%
減少（1～2割）	19	33.3%
減少（3～4割）	10	17.5%
減少（5割以上）	4	7.0%
無回答	11	19.3%

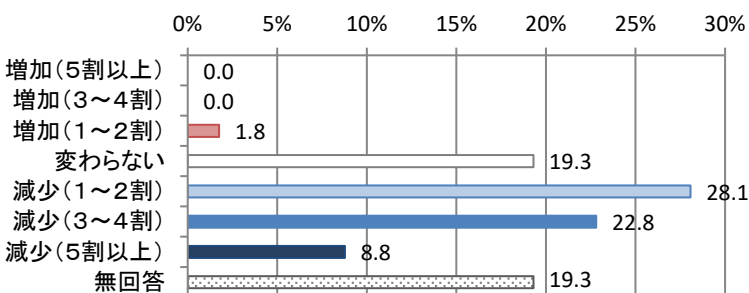


(3) 水産物の単価（前年同期と比べて）

令和2年2月から5月と令和2年6月から9月のいずれにおいても、「減少（1～2割）」の割合が最も高く、次いで「変わらない」、「減少（3～4割）」が続く。「増加」と回答した割合は1.8%で、ごくわずかである。

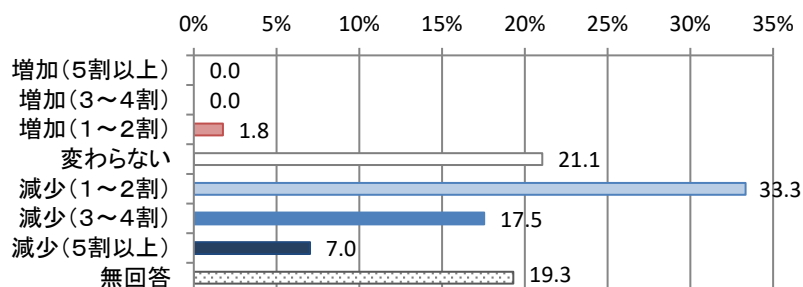
■令和2年2月から5月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	1	1.8%
変わらない	11	19.3%
減少（1～2割）	16	28.1%
減少（3～4割）	13	22.8%
減少（5割以上）	5	8.8%
無回答	11	19.3%



■令和2年6月から9月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	1	1.8%
変わらない	12	21.1%
減少（1～2割）	19	33.3%
減少（3～4割）	10	17.5%
減少（5割以上）	4	7.0%
無回答	11	19.3%

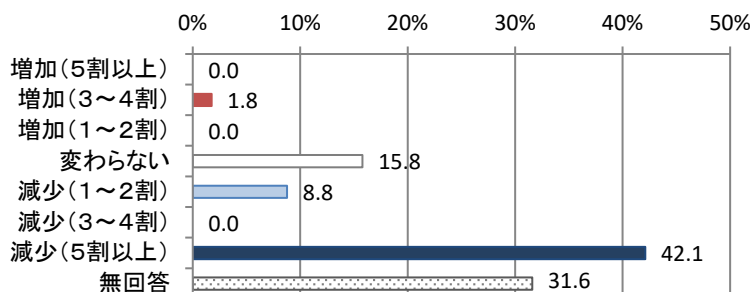


(4) 生鮮市や地域イベントでの販売額（前年同期と比べて）

令和2年2月から5月と令和2年6月から9月のいずれにおいても「減少（5割以上）」が4割以上を占め、その一方で、「増加」と回答した割合はわずかである。新型コロナウイルスの感染拡大が、生鮮市や地域イベントへ与える影響は大きかったことが分かる。

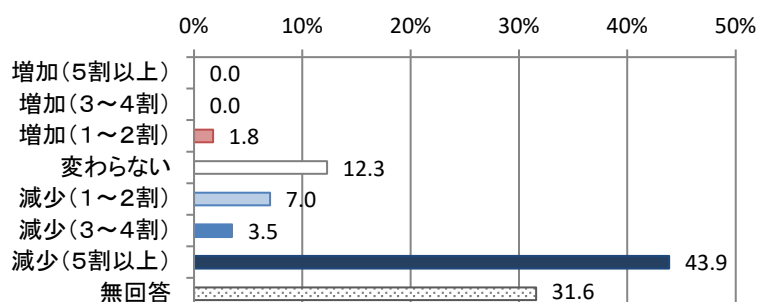
■令和2年2月から5月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	1	1.8%
増加（1～2割）	—	0.0%
変わらない	9	15.8%
減少（1～2割）	5	8.8%
減少（3～4割）	—	0.0%
減少（5割以上）	24	42.1%
無回答	18	31.6%



■令和2年6月から9月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	1	1.8%
変わらない	7	12.3%
減少（1～2割）	4	7.0%
減少（3～4割）	2	3.5%
減少（5割以上）	25	43.9%
無回答	18	31.6%

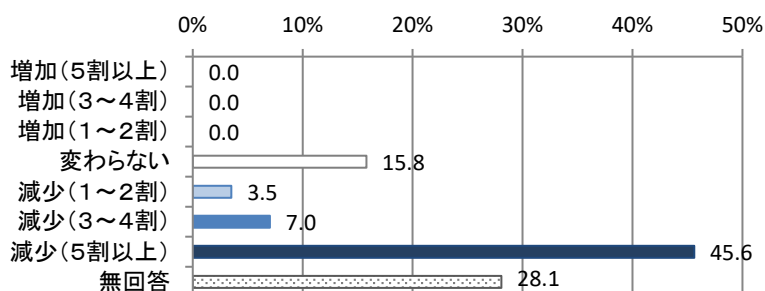


(5) 貴団体での交流事業の来訪者数（前年同期と比べて）

令和2年2月から5月と令和2年6月から9月のいずれにおいても「減少（5割以上）」が4割以上を占めており、新型コロナウイルスの感染拡大により、交流事業の来訪者数が大きく減少したことが分かる。

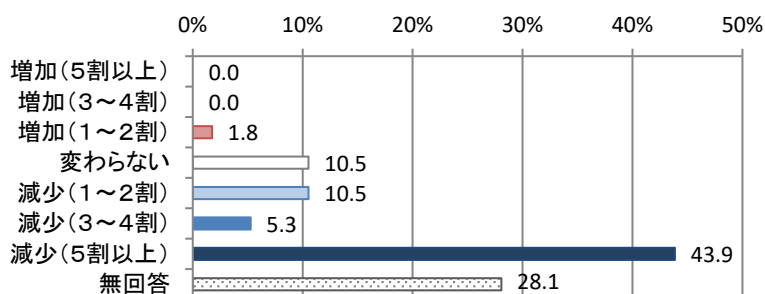
■令和2年2月から5月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	—	0.0%
変わらない	9	15.8%
減少（1～2割）	2	3.5%
減少（3～4割）	4	7.0%
減少（5割以上）	26	45.6%
無回答	16	28.1%



■令和2年6月から9月

総数	57	100.0%
増加（5割以上）	—	0.0%
増加（3～4割）	—	0.0%
増加（1～2割）	1	1.8%
変わらない	6	10.5%
減少（1～2割）	6	10.5%
減少（3～4割）	3	5.3%
減少（5割以上）	25	43.9%
無回答	16	28.1%



【Ⅱ 貴地域での新型コロナウイルス感染症拡大影響の内容について】

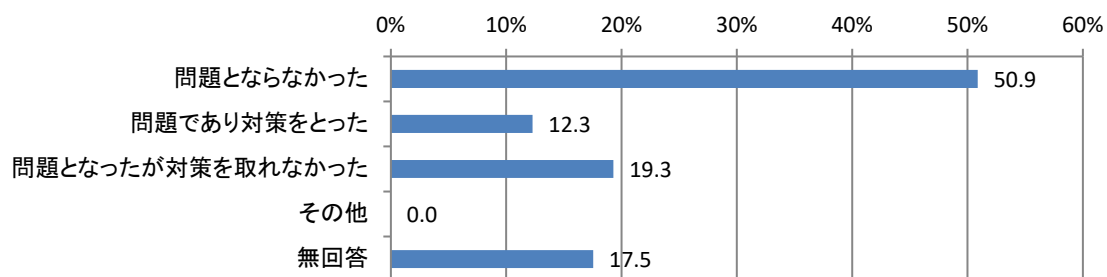
(1) 水産物の水揚げ・出荷・販売における問題点

1. 漁期の短縮や休漁日の増加が発生した

「問題とならなかった」の割合が 50.9%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が 19.3%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	29	50.9%
2	問題であり対策をとった	7	12.3%
3	問題となったが対策を取れなかった	11	19.3%
4	その他	—	0.0%
5	無回答	10	17.5%

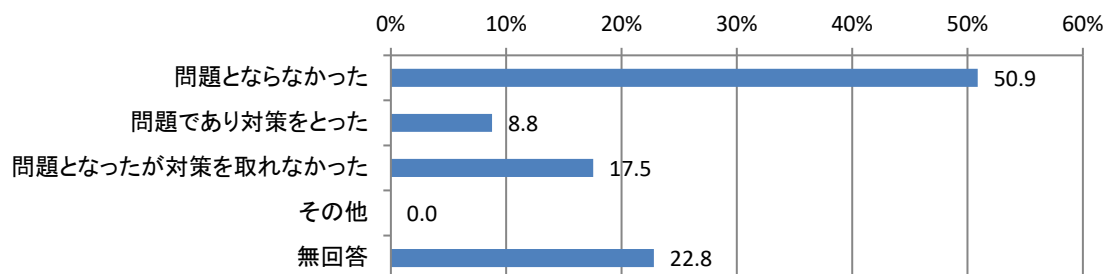


2. 取引先の休業により出荷が困難になった

「問題とならなかった」の割合が 50.9%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が 17.5%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	29	50.9%
2	問題であり対策をとった	5	8.8%
3	問題となったが対策を取れなかった	10	17.5%
4	その他	—	0.0%
5	無回答	13	22.8%

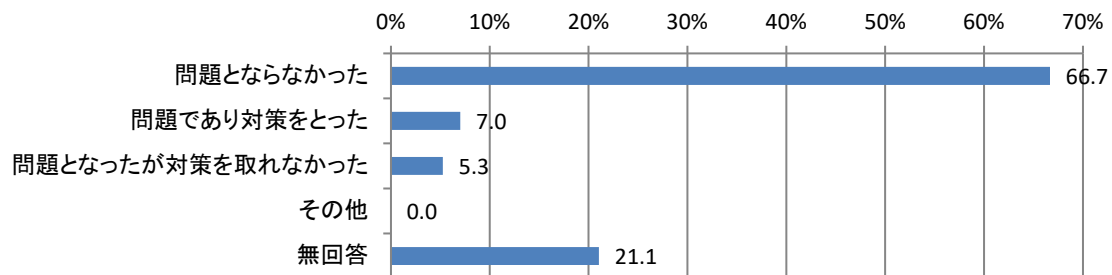


3. 市場の休業（特別休市）または時間短縮となった

「問題とならなかった」の割合が66.7%で最も高く、「問題であり対策をとった」が7.0%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	38	66.7%
2	問題であり対策をとった	4	7.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	3	5.3%
4	その他	—	0.0%
5	無回答	12	21.1%

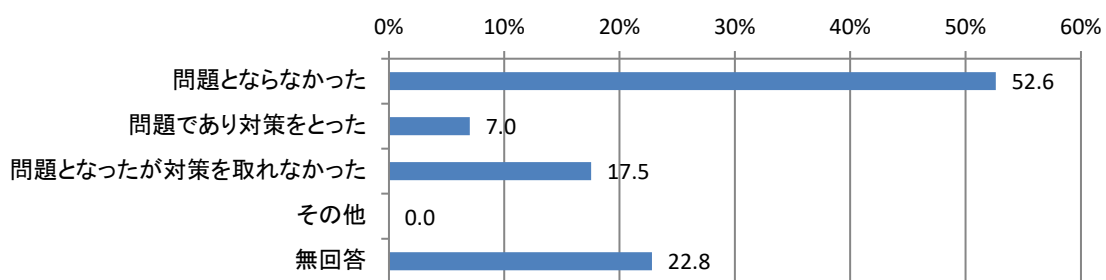


4. 今後の水揚げ・出荷・販売の見通しが立たなかった

「問題とならなかった」の割合が52.6%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が17.5%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	30	52.6%
2	問題であり対策をとった	4	7.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	10	17.5%
4	その他	—	0.0%
5	無回答	13	22.8%

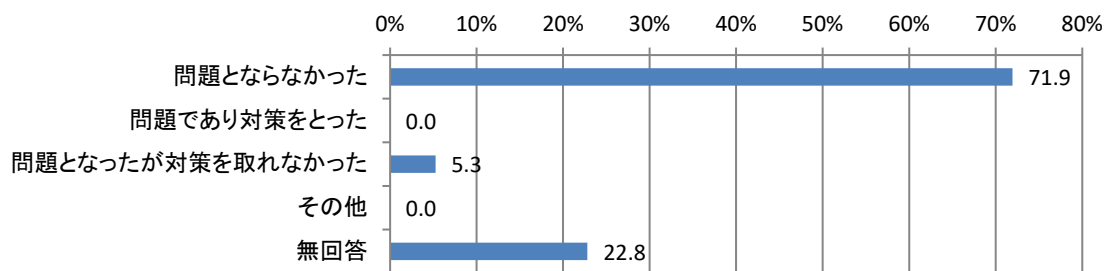


5. 冷蔵庫や冷凍庫の受入れ制限がされた

「問題とならなかった」の割合が71.9%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が5.3%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	41	71.9%
2	問題であり対策をとった	—	0.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	3	5.3%
4	その他	—	0.0%
5	無回答	13	22.8%

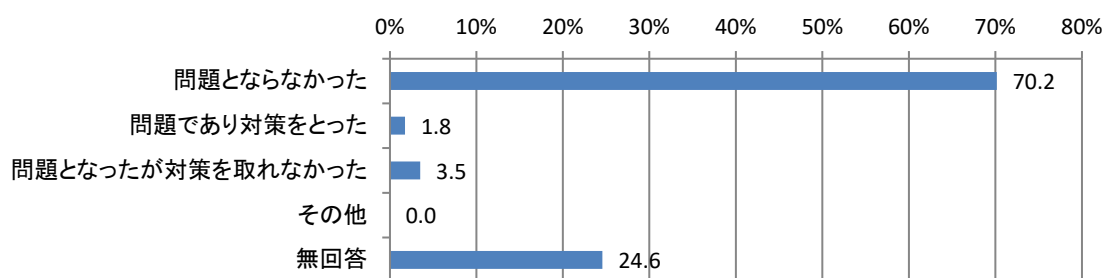


6. 流通やロジスティックが不足した

「問題とならなかった」の割合が70.2%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が3.5%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	40	70.2%
2	問題であり対策をとった	1	1.8%
3	問題となったが対策を取れなかった	2	3.5%
4	その他	—	0.0%
5	無回答	14	24.6%

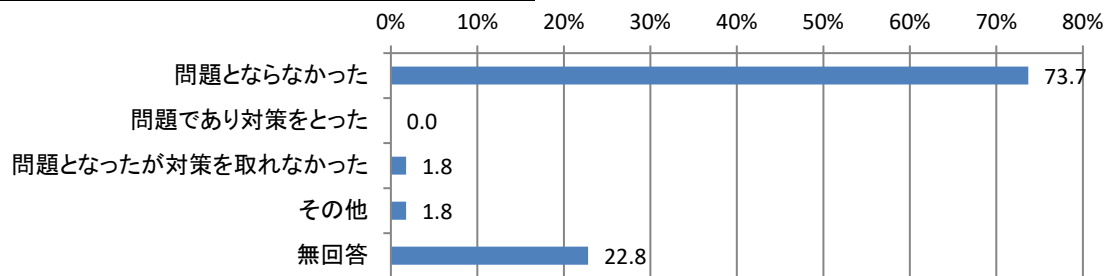


7. アルバイト・パートが不足した

「問題とならなかった」の割合が73.7%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が1.8%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数		
1	問題とならなかった	42	73.7%
2	問題であり対策をとった	—	0.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	1	1.8%
4	その他	1	1.8%
5	無回答	13	22.8%

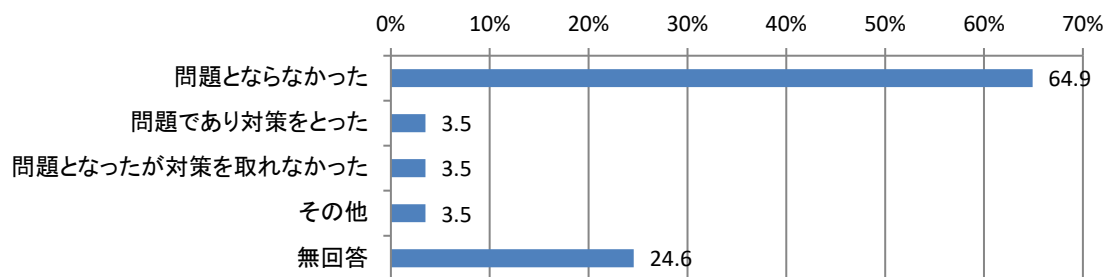


8. 外国人材の受入れが困難になり、人手が不足した

「問題とならなかった」の割合が64.9%で最も高く、「問題であり対策をとった」および「問題となったが対策を取れなかった」が3.5%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数		
1	問題とならなかった	37	64.9%
2	問題であり対策をとった	2	3.5%
3	問題となったが対策を取れなかった	2	3.5%
4	その他	2	3.5%
5	無回答	14	24.6%

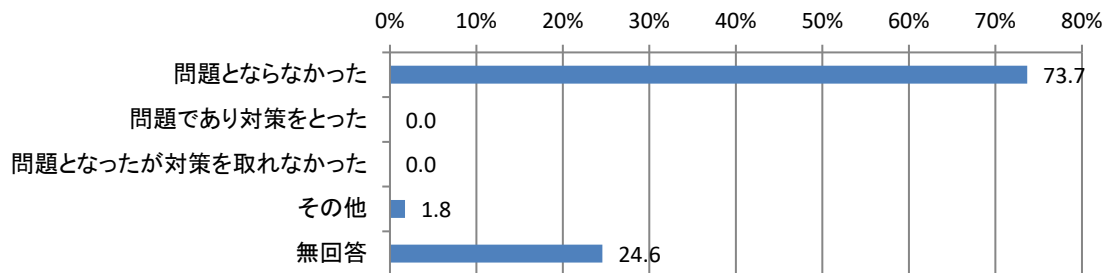


9. 資機材や水産物以外の原材料が調達困難となった

「問題とならなかった」の割合が64.9%で最も高く、「問題であり対策をとった」および「問題となったが対策を取れなかった」が3.5%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	42	73.7%
2	問題であり対策をとった	—	0.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	—	0.0%
4	その他	1	1.8%
5	無回答	14	24.6%



10. その他（自由記述）

■問題・対策の内容

回答なし

■具体的に

回答なし

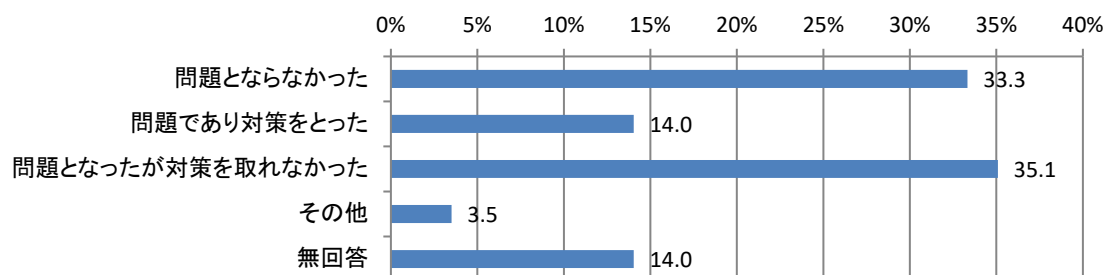
(2) 漁港や地域での交流における問題点漁港や地域での交流における問題点

1. 漁業体験や釣り体験などのサービス利用者が減少した

「問題となったが対策を取れなかった」の割合が35.1%で最も高く、「問題とならなかった」が33.3%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	19	33.3%
2	問題であり対策をとった	8	14.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	20	35.1%
4	その他	2	3.5%
5	無回答	8	14.0%

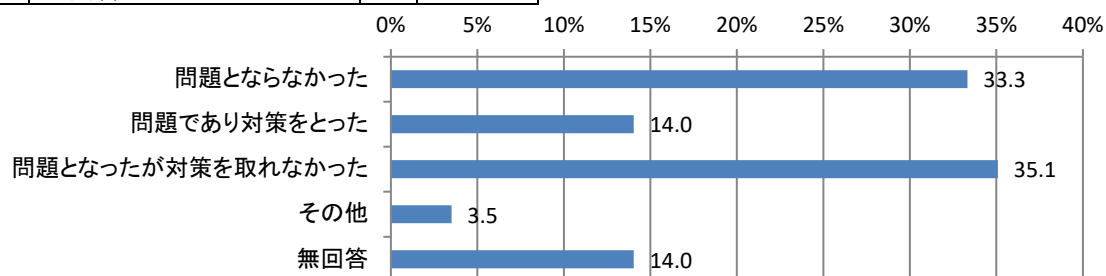


2. 漁港や地域での鮮魚市などのイベントが中止となった

「問題となったが対策を取れなかった」の割合が42.1%で最も高く、「問題とならなかった」が24.6%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	14	24.6%
2	問題であり対策をとった	6	10.5%
3	問題となったが対策を取れなかった	24	42.1%
4	その他	5	8.8%
5	無回答	8	14.0%

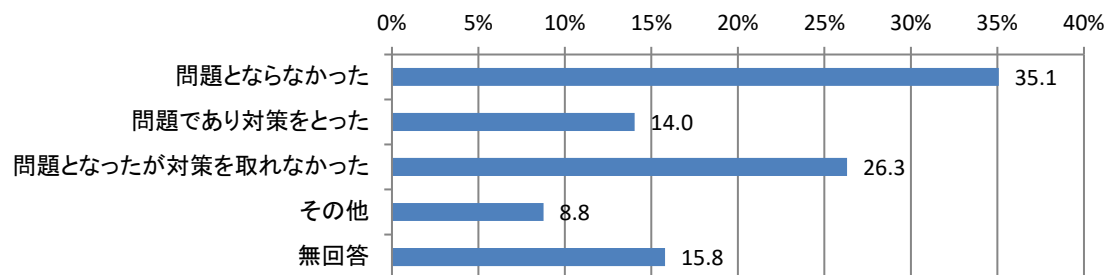


3. 水産物直売所や地域の鮮魚店への観光来訪者が減少した

「問題とならなかった」の割合が 35.1%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が 26.3%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	20	35.1%
2	問題であり対策をとった	8	14.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	15	26.3%
4	その他	5	8.8%
5	無回答	9	15.8%

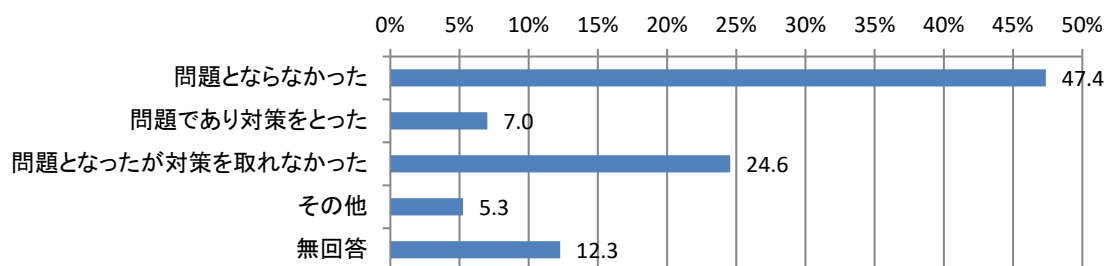


4. 修学旅行など教育旅行が中止となった

「問題とならなかった」の割合が 35.1%で最も高く、「問題となったが対策を取れなかった」が 26.3%で次に続く。

■問題・対策の有無

	総数	57	100.0%
1	問題とならなかった	27	47.4%
2	問題であり対策をとった	4	7.0%
3	問題となったが対策を取れなかった	14	24.6%
4	その他	3	5.3%
5	無回答	7	12.3%



5. その他（自由記述）

■問題・対策の有無

島でのイベント・行事等を中止・延期した。

■具体的に

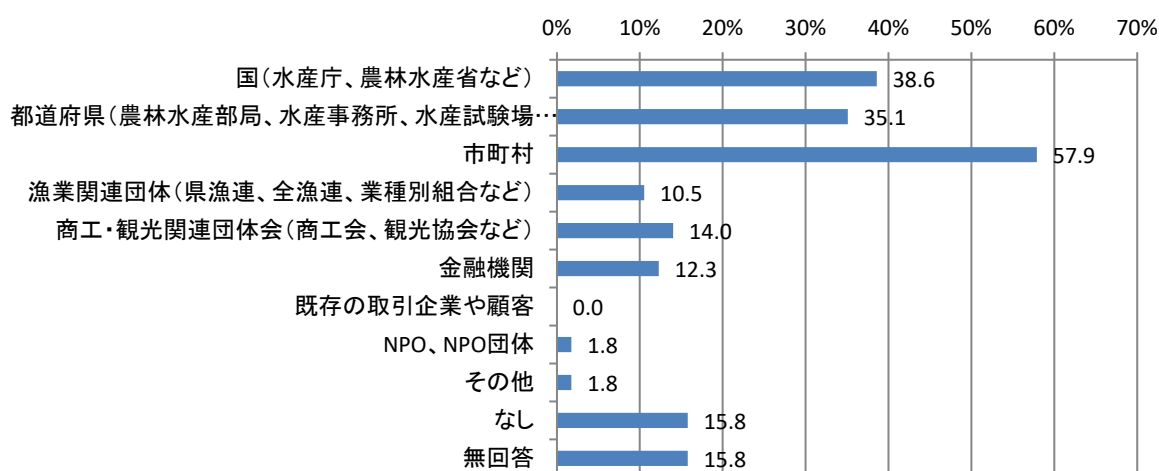
回答なし

【Ⅲ 貴団体（および構成員となる事業者・個人等）での支援策の活用について】

（１）支援を求めた対象

「市町村」の割合が57.9%で最も高く、次いで「国（水産庁、農林水産省など）」が38.6%、「都道府県（農林水産部局、水産事務所、水産試験場など）」が35.1%と続く。

	総数	57	100.0%
1	国（水産庁、農林水産省など）	22	38.6%
2	都道府県（農林水産部局、水産事務所、水産試験場など）	20	35.1%
3	市町村	33	57.9%
4	漁業関連団体（県漁連、全漁連、業種別組合など）	6	10.5%
5	商工・観光関連団体（商工会、観光協会など）	8	14.0%
6	金融機関	7	12.3%
7	既存の取引企業や顧客	—	0.0%
8	NPO、NPO 団体	1	1.8%
9	その他	1	1.8%
10	なし	9	15.8%
11	無回答	9	15.8%



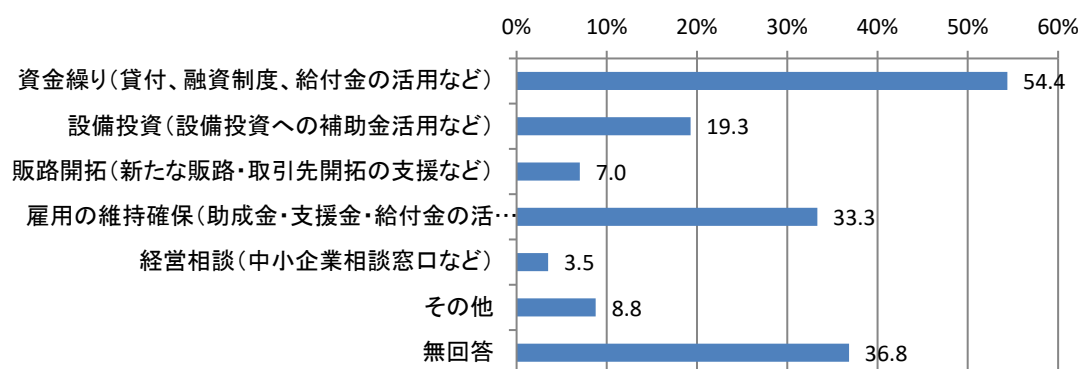
■その他の場合の具体的な内容（自由記述）

回答なし

（２）具体的に受けた支援内容

「資金繰り（貸付、融資制度、給付金の活用など）」の割合が54.4%で最も高く、次いで「雇用の維持確保（助成金・支援金・給付金の活用・相談など）」が33.3%、「設備投資（設備投資への補助金活用など）」が19.3%と続く。

	総数	57	100.0%
1	資金繰り（貸付、融資制度、給付金の活用など）	31	54.4%
2	設備投資（設備投資への補助金活用など）	11	19.3%
3	販路開拓（新たな販路・取引先開拓の支援など）	4	7.0%
4	雇用の維持確保（助成金・支援金・給付金の活用・相談など）	19	33.3%
5	経営相談（中小企業相談窓口など）	2	3.5%
6	その他	5	8.8%
7	無回答	21	36.8%



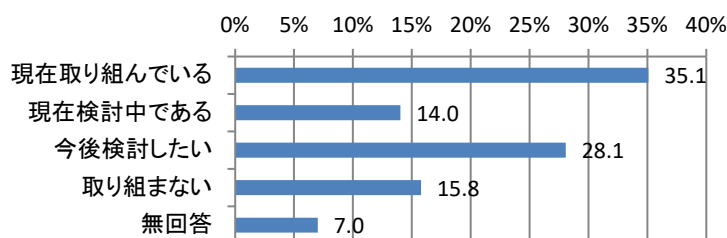
【Ⅳ 貴団体でのウィズコロナ・アフターコロナを見据えた安全安心対策や新たな取組について】

(1) 安全安心対策について

1. 自然体験等プログラムでのお客様受入時の基準を決めている（関連団体が作成するガイドラインを準用するものも含む）

「現在取り組んでいる」の割合が35.1%で最も高く、次いで「今後検討したい」が28.1%、「取り組まない」が15.8%と続く。

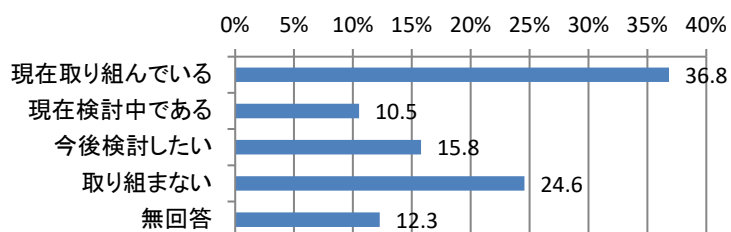
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	20	35.1%
2	現在検討中である	8	14.0%
3	今後検討したい	16	28.1%
4	取り組まない	9	15.8%
5	無回答	4	7.0%



2. 民泊、宿泊施設でのお客様受入時の基準を決めている

「現在取り組んでいる」の割合が36.8%で最も高く、次いで「取り組まない」が24.6%、「今後検討したい」が15.8%と続く。

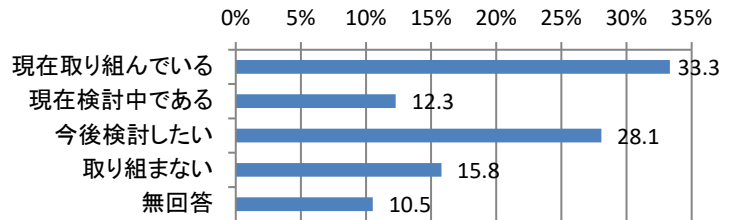
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	21	36.8%
2	現在検討中である	6	10.5%
3	今後検討したい	9	15.8%
4	取り組まない	14	24.6%
5	無回答	7	12.3%



3. 水産物の販売や食堂でのお客様受け入れ時の基準を決めている

「現在取り組んでいる」の割合が33.3%で最も高く、次いで「今後検討したい」が28.1%、「取り組まない」が15.8%と続く。

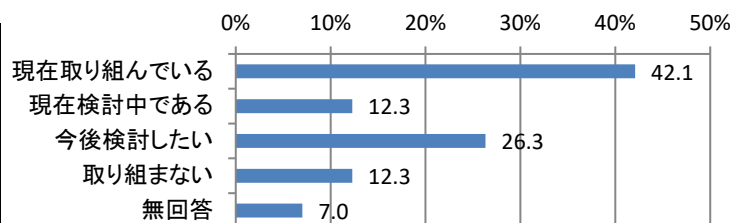
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	19	33.3%
2	現在検討中である	7	12.3%
3	今後検討したい	16	28.1%
4	取り組まない	9	15.8%
5	無回答	6	10.5%



4. 安全安心な受入のための基準をお客様に周知・発信している

「現在取り組んでいる」の割合が33.3%で最も高く、次いで「今後検討したい」が28.1%、「取り組まない」が15.8%と続く。

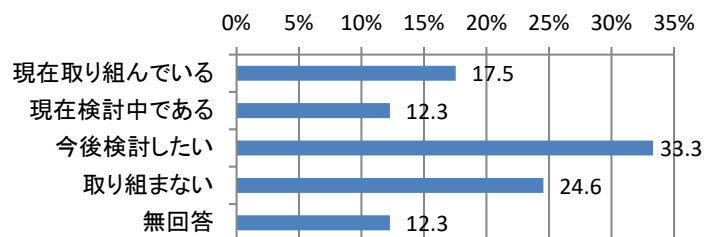
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	24	42.1%
2	現在検討中である	7	12.3%
3	今後検討したい	15	26.3%
4	取り組まない	7	12.3%
5	無回答	4	7.0%



5. IoT を活用して非接触での決済（キャッシュレス）など対応時の工夫を行っている

「今後検討したい」の割合が33.3%で最も高く、次いで「取り組まない」が24.6%、「現在取り組んでいる」が17.5%と続く。

	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	10	17.5%
2	現在検討中である	7	12.3%
3	今後検討したい	19	33.3%
4	取り組まない	14	24.6%
5	無回答	7	12.3%



6. その他取り組んでいる安全安心対策（自由記述）

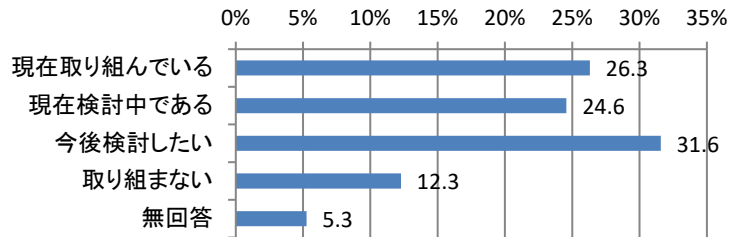
- ・国・県・市の基準を準用。
- ・現在、お客様を呼び込んでいないので、それ用の対策は行っていない。もしも、今後お客様を呼びこむ場合は取り組みたいと思っている。

(2) 新たな取組について

1. マイクロツーリズム（近隣からの来訪をターゲットにした観光、地域の子供達への教育など）

「今後検討したい」の割合が31.6%で最も高く、次いで「現在取り組んでいる」が26.3%、「現在検討中である」が24.6%と続く。

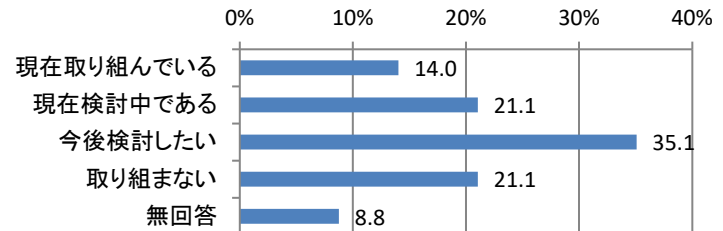
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	15	26.3%
2	現在検討中である	14	24.6%
3	今後検討したい	18	31.6%
4	取り組まない	7	12.3%
5	無回答	3	5.3%



2. ワーケーション（ワークとバケーションを組み合わせた滞在型の受入、企業との連携など）

「今後検討したい」の割合が35.1%で最も高く、次いで「現在検討中である」および「取り組まない」が21.1%と続く。

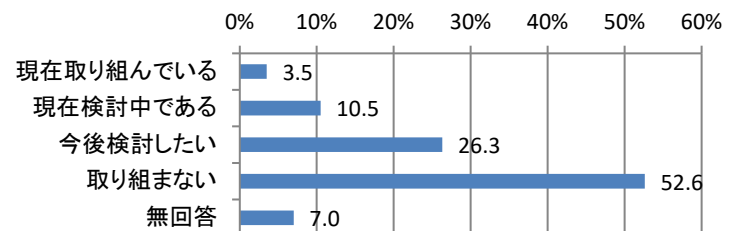
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	8	14.0%
2	現在検討中である	12	21.1%
3	今後検討したい	20	35.1%
4	取り組まない	12	21.1%
5	無回答	5	8.8%



3. バーチャルツアー（仮想体験として遠方から地域の魅力を体験するツアー）

「今後検討したい」の割合が31.6%で最も高く、次いで「現在取り組んでいる」が26.3%、「現在検討中である」が24.6%と続く。

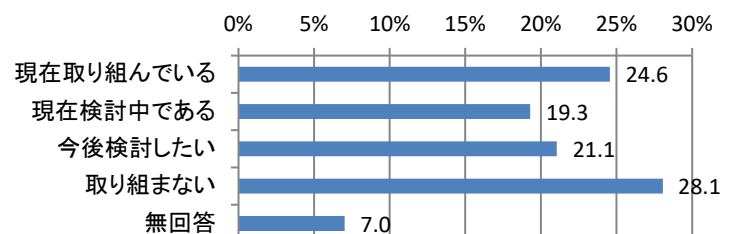
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	2	3.5%
2	現在検討中である	6	10.5%
3	今後検討したい	15	26.3%
4	取り組まない	30	52.6%
5	無回答	4	7.0%



4. 漁村地域への移住・定住の取組（漁業就業、漁村地域での空家活用など）

「取り組まない」の割合が28.1%で最も高く、次いで「現在取り組んでいる」が24.6%、「今後検討したい」が21.1%と続く。

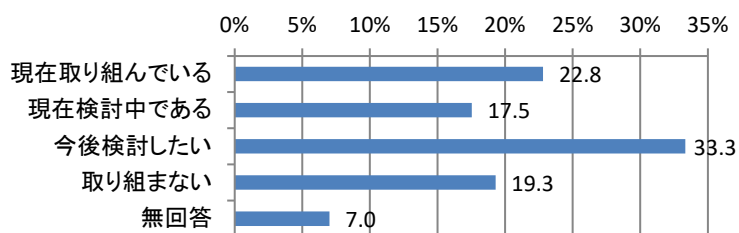
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	14	24.6%
2	現在検討中である	11	19.3%
3	今後検討したい	12	21.1%
4	取り組まない	16	28.1%
5	無回答	4	7.0%



5. 関係人口づくりの取組（ゆかりある方、地域のファンとの継続的なつながりをつくる、地域に貢献してくれる方の受入れなど）

「取り組まない」の割合が28.1%で最も高く、次いで「現在取り組んでいる」が24.6%、「今後検討したい」が21.1%と続く。

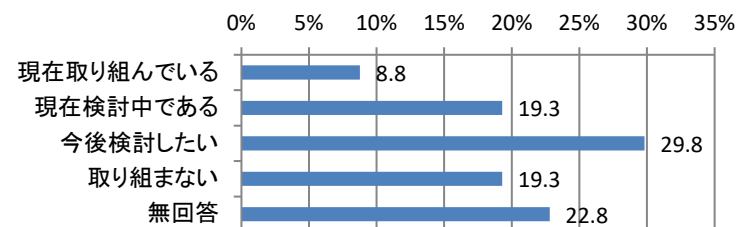
	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	13	22.8%
2	現在検討中である	10	17.5%
3	今後検討したい	19	33.3%
4	取り組まない	11	19.3%
5	無回答	4	7.0%



6. 新たな体験コンテンツづくりやサービスづくり

「取り組まない」の割合が28.1%で最も高く、次いで「現在取り組んでいる」が24.6%、「今後検討したい」が21.1%と続く。

	総数	57	100.0%
1	現在取り組んでいる	5	8.8%
2	現在検討中である	11	19.3%
3	今後検討したい	17	29.8%
4	取り組まない	11	19.3%
5	無回答	13	22.8%

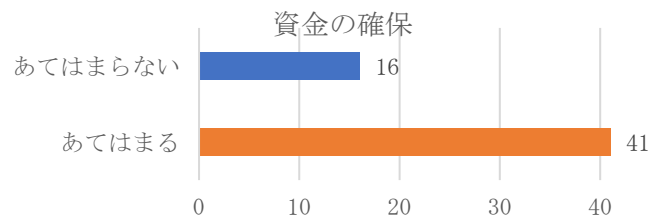


(3) 対策の実施にあたっての課題

「資金の確保」、「専門的ノウハウや知識」、「担当する人材の確保」のなかで、「資金の確保」は約7割が「あてはまる」と回答しており、最も課題となっていると考えられる。

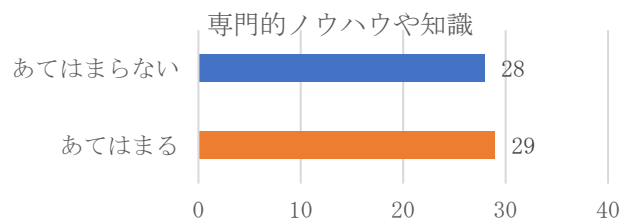
1. 資金の確保

	総数	57	100.0%
1	あてはまらない	16	28.1%
2	あてはまる	41	71.9%



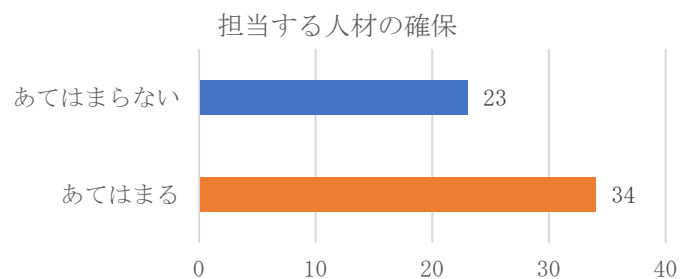
2. 専門的ノウハウや知識

	総数	57	100.0%
1	あてはまらない	28	49.1%
2	あてはまる	29	50.9%



3. 担当する人材の確保

	総数	57	100.0%
1	あてはまらない	23	40.4%
2	あてはまる	34	59.6%



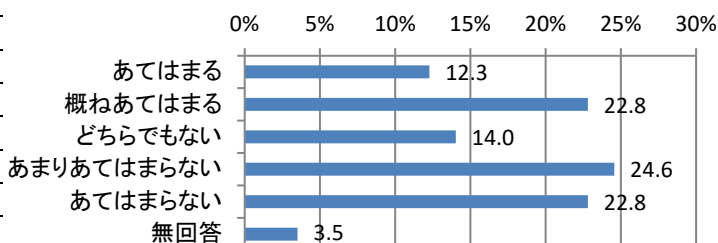
【V 貴団体による交流による漁港漁村の地域づくりについて】

(1) 組織運営について

1. 運営体制（経験ある人材）が確保され、新たなコンテンツづくりや多様な関係者と連携協力、効果的なプロモーションを行うことができる

「あまりあてはまらない」の割合が24.6%で最も高く、次いで「概ねあてはまる」および「あてはまらない」が22.8%と続く。

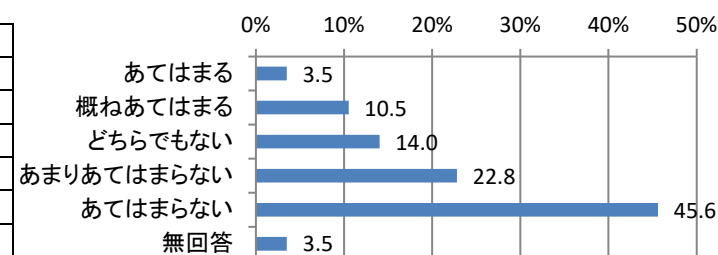
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	7	12.3%
2	概ねあてはまる	13	22.8%
3	どちらでもない	8	14.0%
4	あまりあてはまらない	14	24.6%
5	あてはまらない	13	22.8%
6	無回答	2	3.5%



2. 運営のための十分な資金が確保されている

「あてはまらない」の割合が45.6%で最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が22.8%、「どちらでもない」が14.0%と続く。

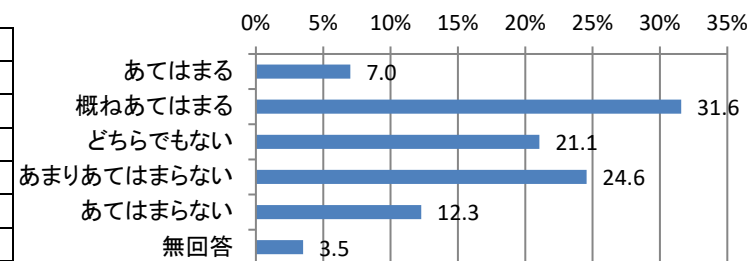
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	2	3.5%
2	概ねあてはまる	6	10.5%
3	どちらでもない	8	14.0%
4	あまりあてはまらない	13	22.8%
5	あてはまらない	26	45.6%
6	無回答	2	3.5%



3. 地域としての計画や戦略を持ち、組織内および地域の関係者と十分な共有が図られている

「概ねあてはまる」の割合が31.6%で最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が24.6%、「どちらでもない」が21.1%と続く。

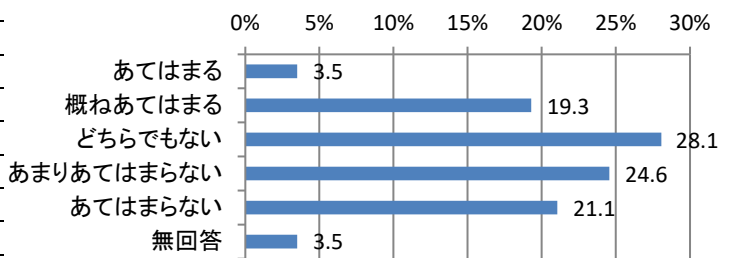
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	4	7.0%
2	概ねあてはまる	18	31.6%
3	どちらでもない	12	21.1%
4	あまりあてはまらない	14	24.6%
5	あてはまらない	7	12.3%
6	無回答	2	3.5%



4. 地域の来訪者数や自組織および連携組織の売上額等を把握し、経営に活かしている

「どちらでもない」の割合が28.1%で最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が24.6%、「あてはまらない」が21.1%と続く。

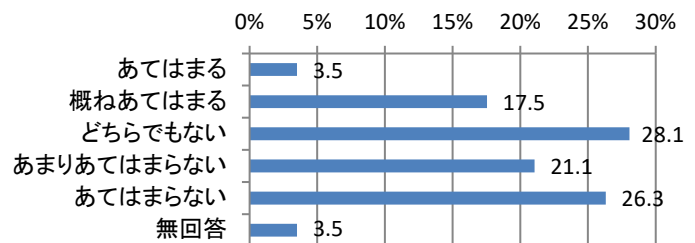
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	2	3.5%
2	概ねあてはまる	11	19.3%
3	どちらでもない	16	28.1%
4	あまりあてはまらない	14	24.6%
5	あてはまらない	12	21.1%
6	無回答	2	3.5%



5. 地域におけるお客様の満足度や要望情報を把握し、経営に活かしている

「概ねあてはまる」の割合が31.6%で最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が24.6%、「どちらでもない」が21.1%と続く。

	総数	57	100.0%
1	あてはまる	2	3.5%
2	概ねあてはまる	10	17.5%
3	どちらでもない	16	28.1%
4	あまりあてはまらない	12	21.1%
5	あてはまらない	15	26.3%
6	無回答	2	3.5%

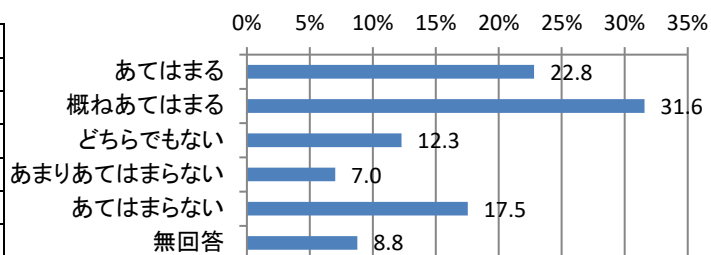


(1) 地域との関連について

1. 地域の事業者からの仕入れ調達をしている

「概ねあてはまる」の割合が31.6%で最も高く、次いで「あてはまる」が22.8%、「あてはまらない」が17.5%と続く。

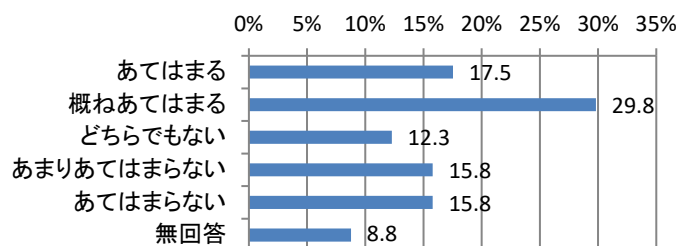
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	13	22.8%
2	概ねあてはまる	18	31.6%
3	どちらでもない	7	12.3%
4	あまりあてはまらない	4	7.0%
5	あてはまらない	10	17.5%
6	無回答	5	8.8%



2. 地域の雇用創出に貢献している

「概ねあてはまる」の割合が29.8%で最も高く、次いで「あまりあてはまらない」および「あてはまらない」が15.8%と続く。

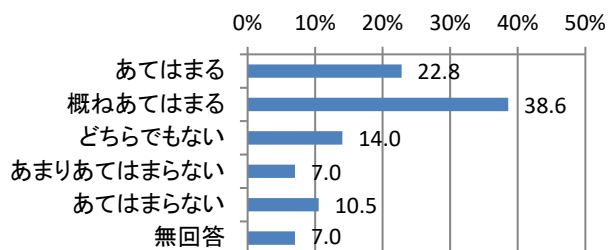
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	10	17.5%
2	概ねあてはまる	17	29.8%
3	どちらでもない	7	12.3%
4	あまりあてはまらない	9	15.8%
5	あてはまらない	9	15.8%
6	無回答	5	8.8%



3. 交流の取組において、地域住民との連携や協力関係がある

「概ねあてはまる」の割合が31.6%で最も高く、次いで「あまりあてはまらない」が24.6%、「どちらでもない」が21.1%と続く。

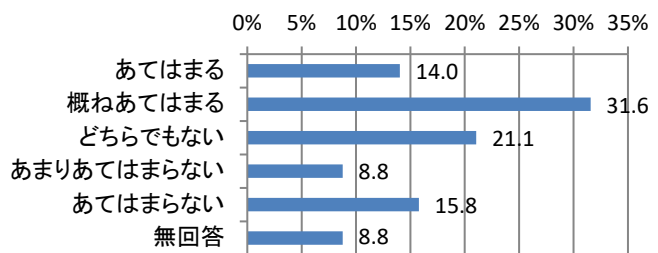
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	13	22.8%
2	概ねあてはまる	22	38.6%
3	どちらでもない	8	14.0%
4	あまりあてはまらない	4	7.0%
5	あてはまらない	6	10.5%
6	無回答	4	7.0%



4. 地域の治安や防災など生活環境への影響への配慮、対策を行っている

「概ねあてはまる」の割合が31.6%で最も高く、次いで「どちらでもない」が21.1%、「あてはまらない」が15.8%と続く。

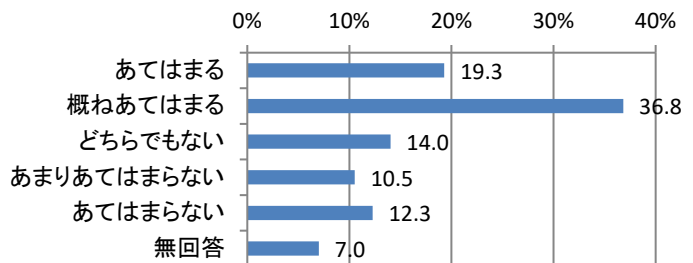
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	8	14.0%
2	概ねあてはまる	18	31.6%
3	どちらでもない	12	21.1%
4	あまりあてはまらない	5	8.8%
5	あてはまらない	9	15.8%
6	無回答	5	8.8%



5. 地域の歴史や文化・祭事を守り伝えるための取組を行っている

「概ねあてはまる」の割合が36.8%で最も高く、次いで「あてはまる」が19.3%、「どちらでもない」が14.0%と続く。

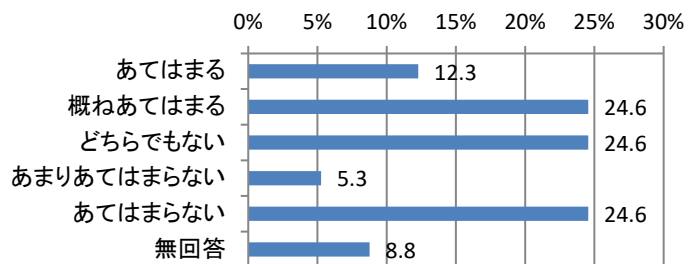
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	11	19.3%
2	概ねあてはまる	21	36.8%
3	どちらでもない	8	14.0%
4	あまりあてはまらない	6	10.5%
5	あてはまらない	7	12.3%
6	無回答	4	7.0%



6. 地域の文化資源（有形無形の文化財、遺産）を守るための取組（立ち入りの配慮など）を行っている

「概ねあてはまる」、「どちらでもない」、「あてはまらない」の割合が24.6%で最も高い。

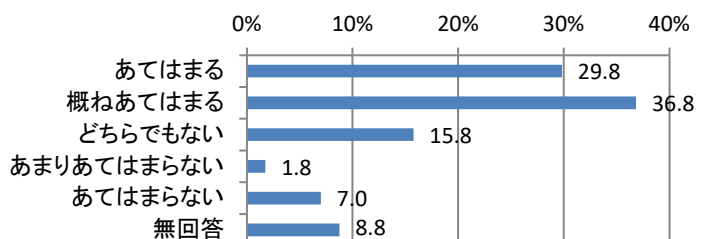
	総数	57	100.0%
1	あてはまる	7	12.3%
2	概ねあてはまる	14	24.6%
3	どちらでもない	14	24.6%
4	あまりあてはまらない	3	5.3%
5	あてはまらない	14	24.6%
6	無回答	5	8.8%



7. 地域の自然環境への配慮を行っている

「概ねあてはまる」の割合が36.8%で最も高く、次いで「あてはまる」が19.3%、「どちらでもない」が14.0%と続く。

	総数	57	100.0%
1	あてはまる	17	29.8%
2	概ねあてはまる	21	36.8%
3	どちらでもない	9	15.8%
4	あまりあてはまらない	1	1.8%
5	あてはまらない	4	7.0%
6	無回答	5	8.8%



2) アンケート調査結果 クロス集計

1. 渚泊実施地域とそれ以外の地域の比較

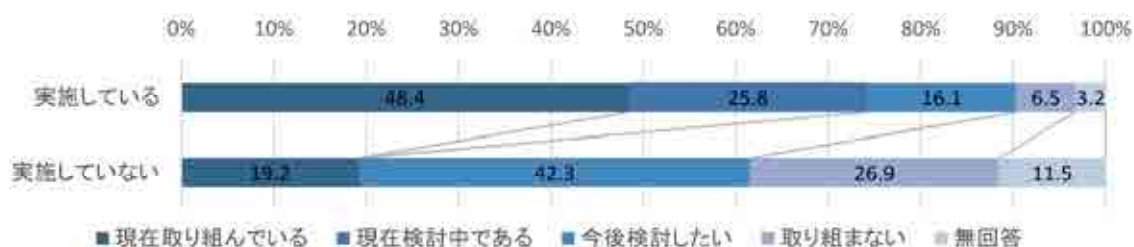
【I ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた安全安心対策や新たな取組について】

(1) 安全安心対策について

①自然体験等プログラムでのお客様受入時の基準を決めている（関連団体が作成するガイドラインを準用するものも含む）

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

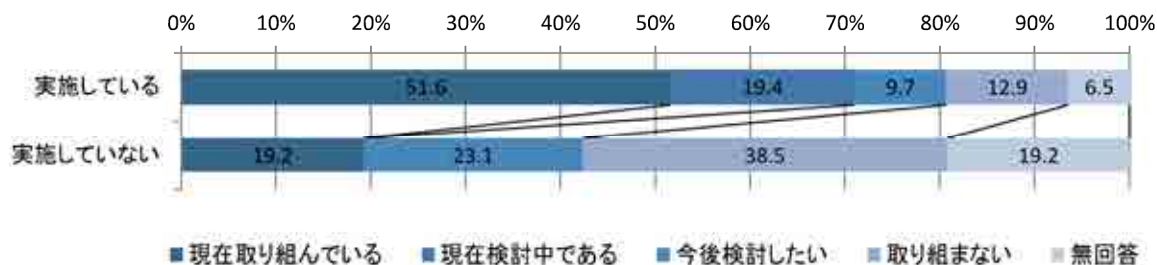
%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	35.1%	14.0%	28.1%	15.8%	7.0%
実施している	48.4%	25.8%	16.1%	6.5%	3.2%
実施していない	19.2%	0.0%	42.3%	26.9%	11.5%



②民泊、宿泊施設でのお客様受入時の基準を決めている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

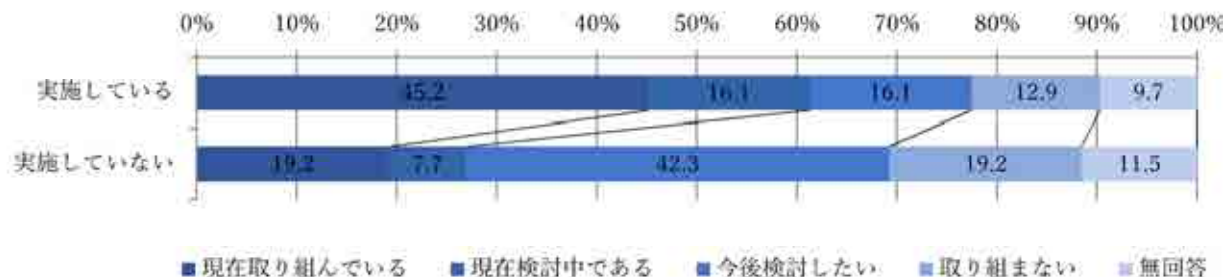
%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	36.8%	10.5%	15.8%	24.6%	12.3%
実施している	51.6%	19.4%	9.7%	12.9%	6.5%
実施していない	19.2%	0.0%	23.1%	38.5%	19.2%



③水産物の販売や食堂でのお客様受け入れ時の基準を決めている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

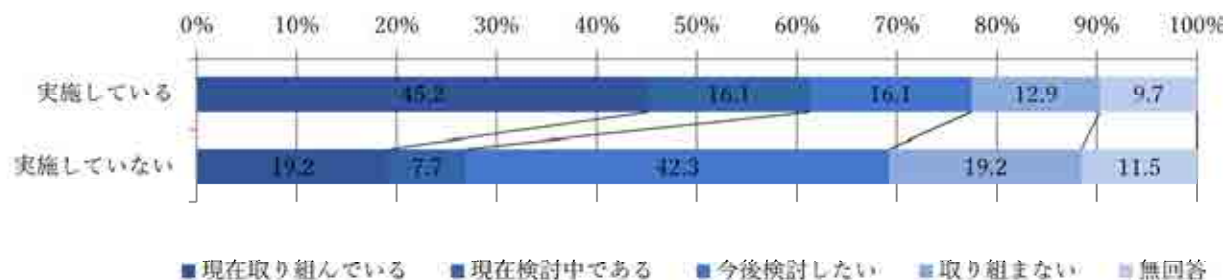
%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	33.3%	12.3%	28.1%	15.8%	10.5%
実施している	45.2%	16.1%	16.1%	12.9%	9.7%
実施していない	19.2%	7.7%	42.3%	19.2%	11.5%



④安全安心な受入のための基準をお客様に周知・発信している

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

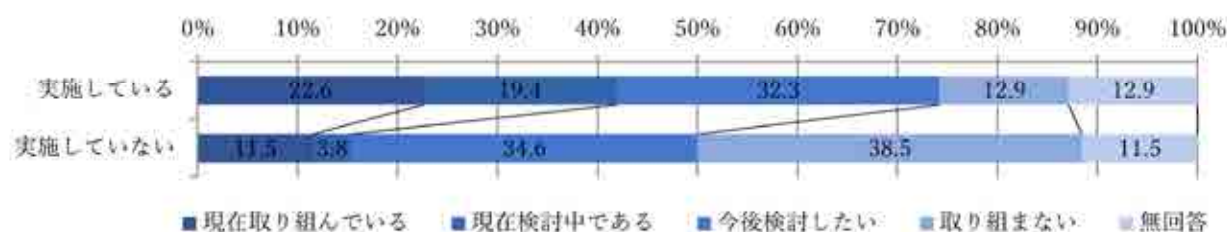
%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	42.1%	12.3%	26.3%	12.3%	7.0%
実施している	58.1%	16.1%	16.1%	6.5%	3.2%
実施していない	23.1%	7.7%	38.5%	19.2%	11.5%



⑤IoTを活用して非接触での決済（キャッシュレス）など対応時の工夫を行っている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

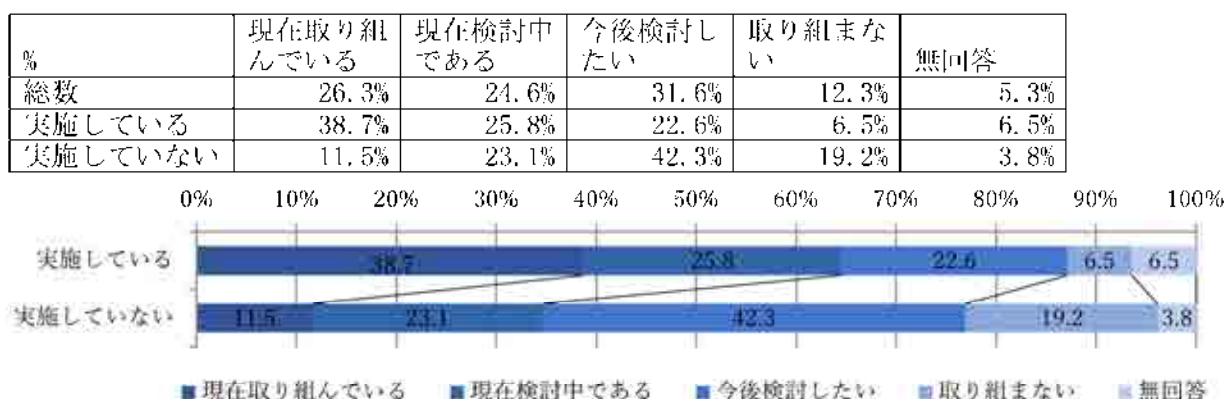
%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	17.5%	12.3%	33.3%	24.6%	12.3%
実施している	22.6%	19.4%	32.3%	12.9%	12.9%
実施していない	11.5%	3.8%	34.6%	38.5%	11.5%



(2) 新たな取組について

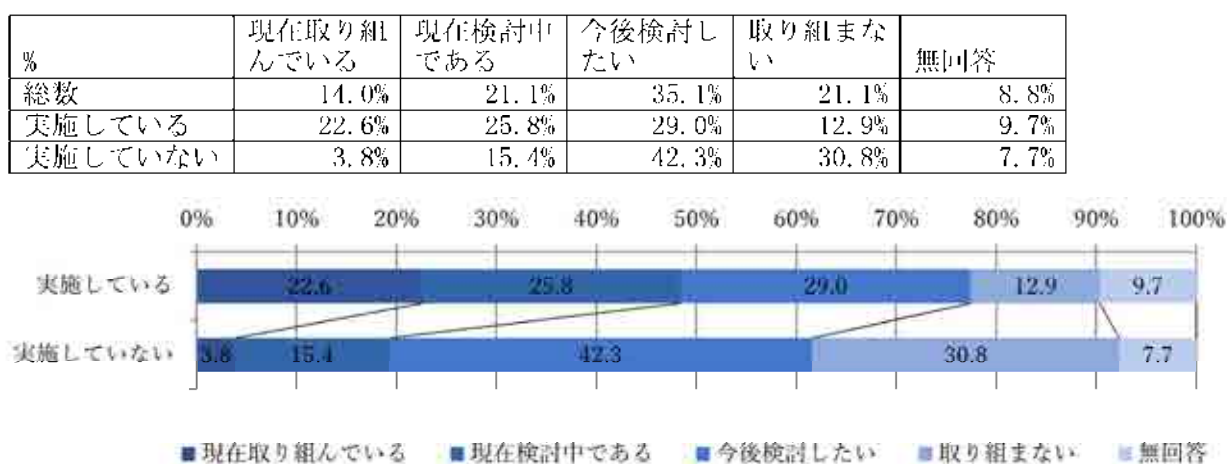
①マイクロツーリズム（近隣からの来訪をターゲットにした観光、地域の子供達への教育など）

宿泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。



②ワーケーション（ワークとバケーションを組み合わせた滞在型の受入、企業との連携など）

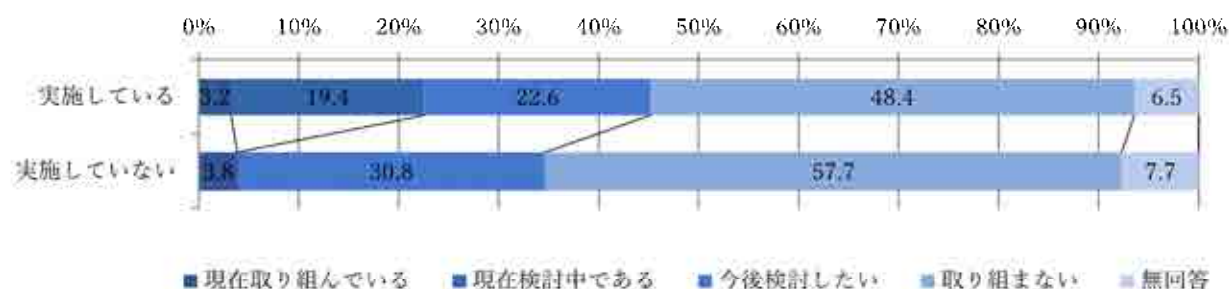
宿泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。



③バーチャルツアー（仮想体験として遠方から地域の魅力を体験するツアー）

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「現在検討中である」と「今後検討したい」と回答した割合が高い。

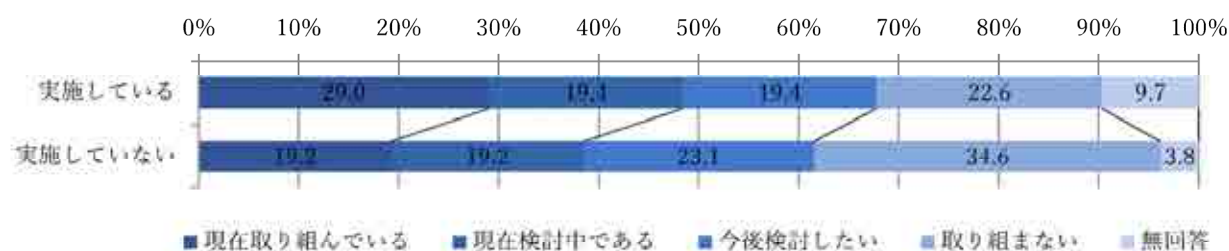
%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	3.5%	10.5%	26.3%	52.6%	7.0%
実施している	3.2%	19.4%	22.6%	48.4%	6.5%
実施していない	3.8%	0.0%	30.8%	57.7%	7.7%



④漁村地域への移住・定住の取組（漁業就業、漁村地域での空家活用など）

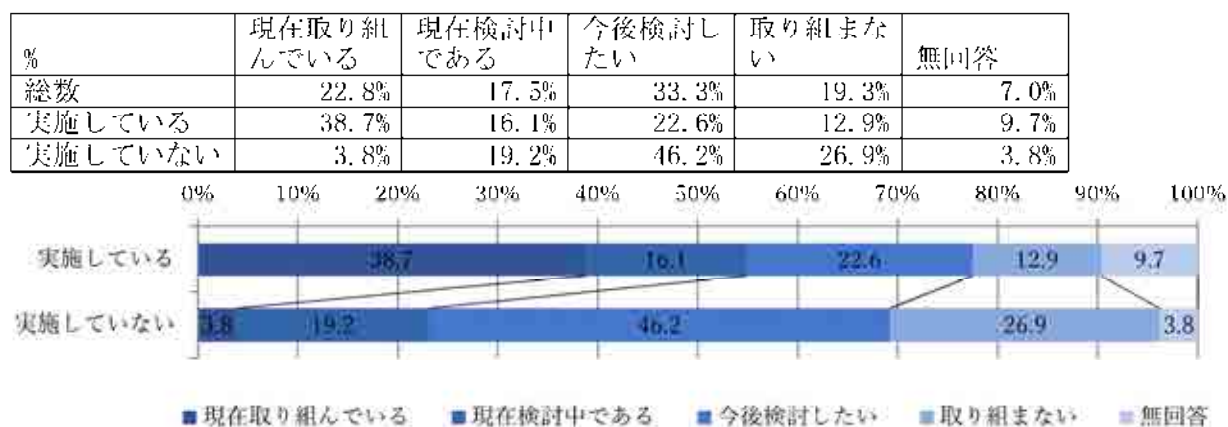
渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

%	現在取り組んでいる	現在検討中である	今後検討したい	取り組まない	無回答
総数	24.6%	19.3%	21.1%	28.1%	7.0%
実施している	29.0%	19.4%	19.4%	22.6%	9.7%
実施していない	19.2%	19.2%	23.1%	34.6%	3.8%



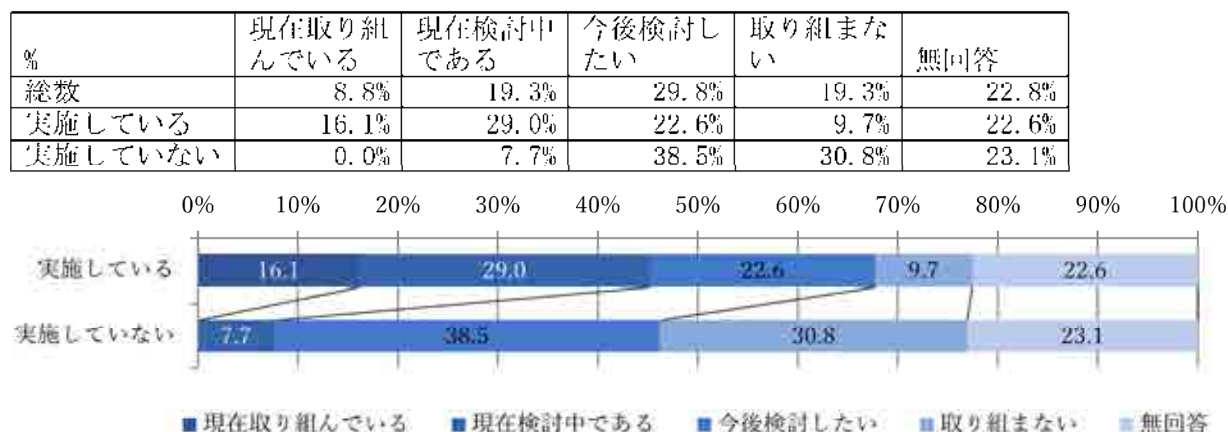
- ④関係人口づくりの取組（ゆかりある方、地域のファンとの継続的なつながりをつくる、地域に貢献してくれる方の受入れなど）

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。



- ⑤新たな体験コンテンツづくりやサービスづくり

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて取り組んでいる傾向にある。

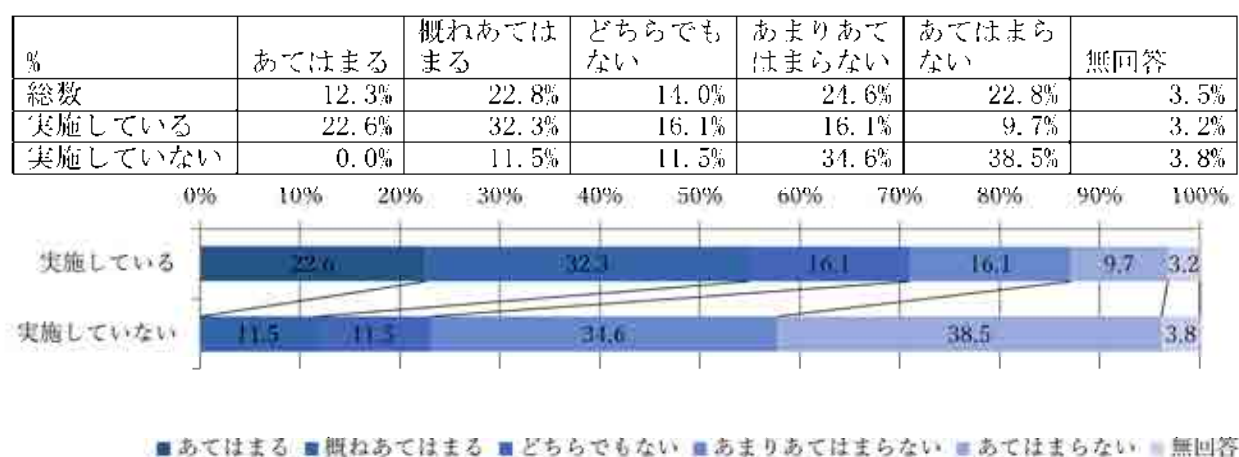


【Ⅱ 貴団体による交流による漁港漁村の地域づくりについて】

(1) 組織運営について

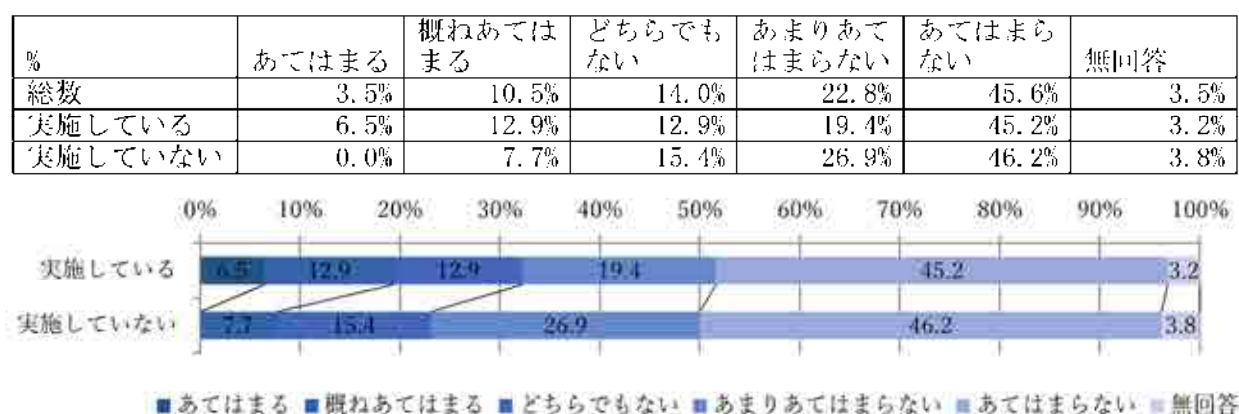
- ①運営体制（経験ある人材）が確保され、新たなコンテンツづくりや多様な関係者と連携協力、効果的なプロモーションを行うことができる

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて「運営体制（経験ある人材）が確保され、新たなコンテンツづくりや多様な関係者と連携協力、効果的なプロモーションを行うことができる」傾向にある。



- ②運営のための十分な資金が確保されている

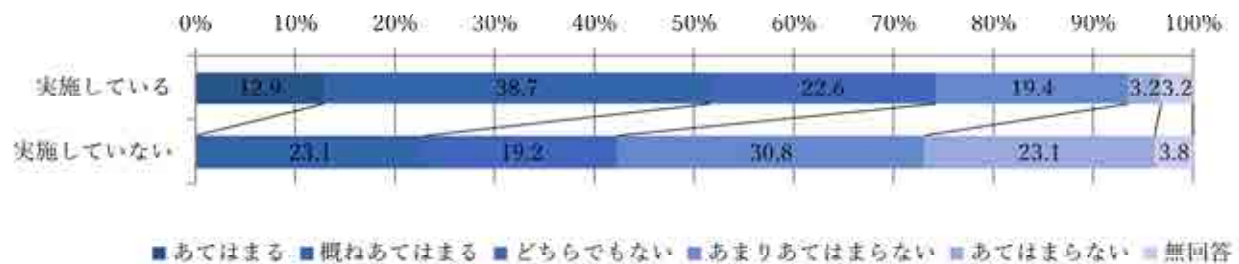
渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、やや「運営のための十分な資金が確保されている」傾向にある。



③地域としての計画や戦略を持ち、組織内および地域の関係者と十分な共有が図られている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域としての計画や戦略を持ち、組織内および地域の関係者と十分な共有が図られている」傾向にある。

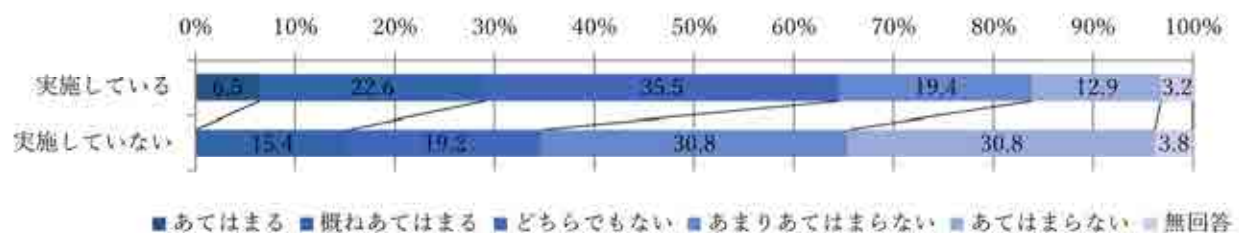
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	7.0%	31.6%	21.1%	24.6%	12.3%	3.5%
実施している	12.9%	38.7%	22.6%	19.4%	3.2%	3.2%
実施していない	0.0%	23.1%	19.2%	30.8%	23.1%	3.8%



④地域の来訪者数や自組織および連携組織の売上額等を把握し、経営に活かしている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の来訪者数や自組織および連携組織の売上額等を把握し、経営に活かしている」傾向にある。

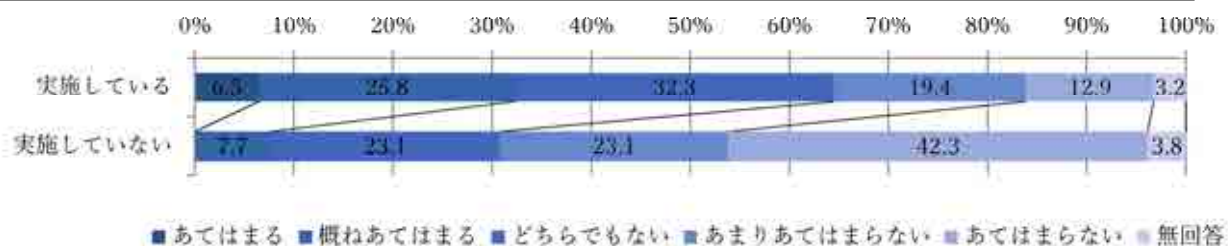
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	3.5%	19.3%	28.1%	24.6%	21.1%	3.5%
実施している	6.5%	22.6%	35.5%	19.4%	12.9%	3.2%
実施していない	0.0%	15.4%	19.2%	30.8%	30.8%	3.8%



⑤地域におけるお客様の満足度や要望情報を把握し、経営に活かしている

宿泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域におけるお客様の満足度や要望情報を把握し、経営に活かしている」傾向にある。

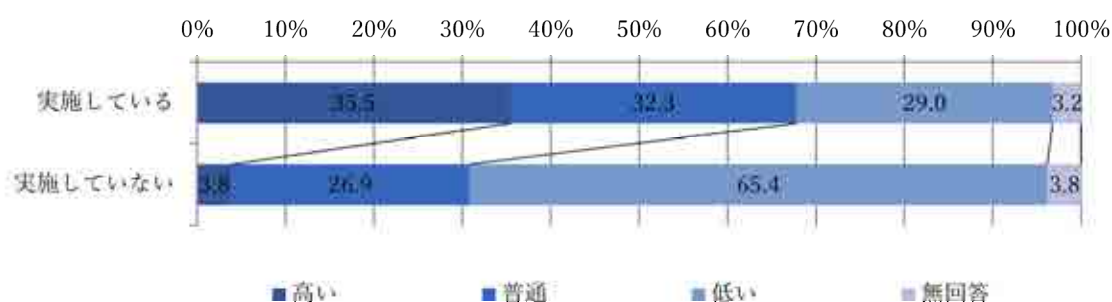
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	3.5%	17.5%	28.1%	21.1%	26.3%	3.5%
実施している	6.5%	25.8%	32.3%	19.4%	12.9%	3.2%
実施していない	0.0%	7.7%	23.1%	23.1%	42.3%	3.8%



⑥総合的な組織運営レベル

渚泊を実施している地域においては、「組織運営レベルが高い地域」が35.5%であるのに対して、それ以外の地域においては3.8%にとどまっている。
渚泊実施地域とそれ以外の地域を比較すると、組織運営レベルの高低に大きな差があることが分かる。

%	高い	普通	低い	無回答
総数	21.1%	29.8%	45.6%	3.5%
実施している	35.5%	32.3%	29.0%	3.2%
実施していない	3.8%	26.9%	65.4%	3.8%



《総合的な組織運営レベルの分類方法》

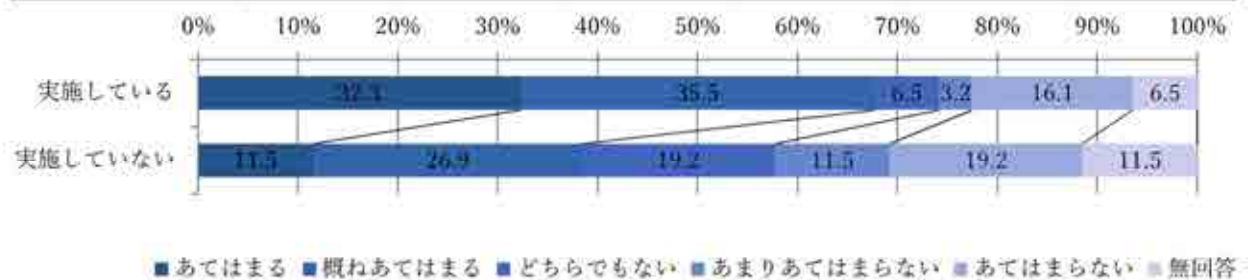
組織運営レベル	分類方法
高い	組織運営についての5つの質問（p.21 V (1) 1～p.22V (1) 5）において、「あてはまる」「概ねあてはまる」と回答した数が3つ以上
普通	上記以外
低い	組織運営についての5つの質問（p.21 V (1) 1～p.22V (1) 5）において、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した数が3つ以上

(2) 地域との関連について

①地域の事業者からの仕入れ調達をしている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の事業者からの仕入れ調達をしている」傾向にある。

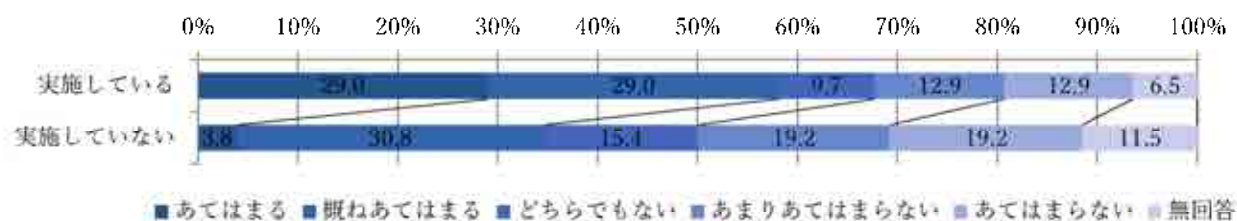
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	22.8%	31.6%	12.3%	7.0%	17.5%	8.8%
実施している	32.3%	35.5%	6.5%	3.2%	16.1%	6.5%
実施していない	11.5%	26.9%	19.2%	11.5%	19.2%	11.5%



②地域の雇用創出に貢献している

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の雇用創出に貢献している」傾向にある。

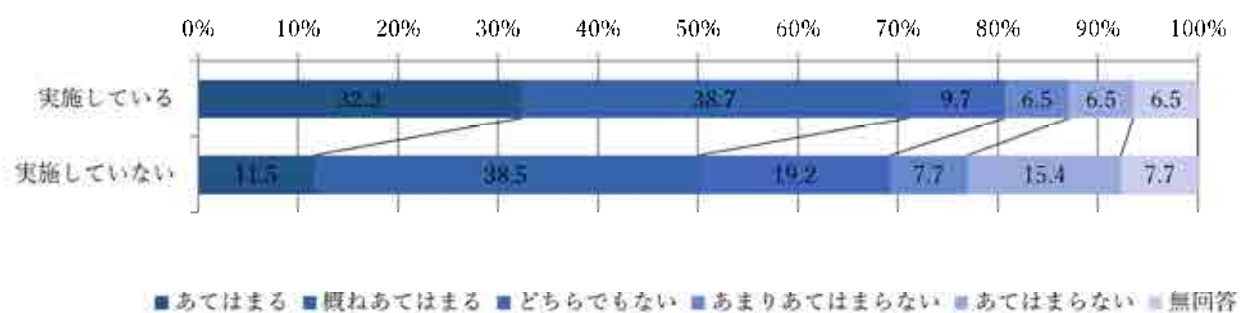
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	17.5%	29.8%	12.3%	15.8%	15.8%	8.8%
実施している	29.0%	29.0%	9.7%	12.9%	12.9%	6.5%
実施していない	3.8%	30.8%	15.4%	19.2%	19.2%	11.5%



③交流の取組において、地域住民との連携や協力関係がある

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「交流の取組において、地域住民との連携や協力関係がある」傾向にある。

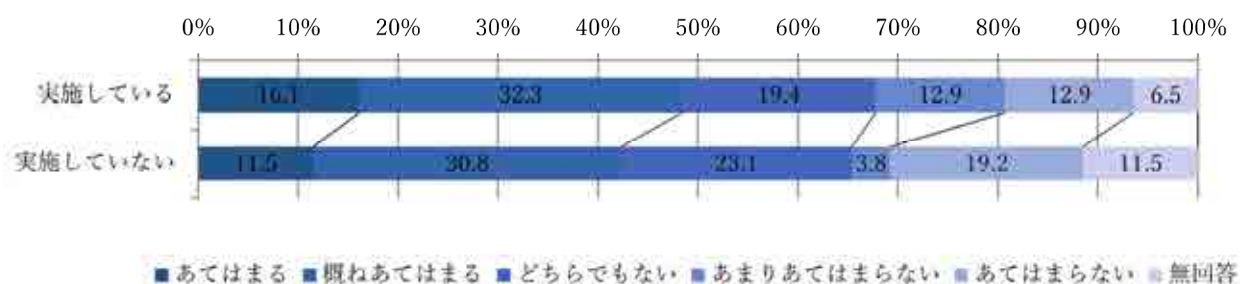
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	22.8%	38.6%	14.0%	7.0%	10.5%	7.0%
実施している	32.3%	38.7%	9.7%	6.5%	6.5%	6.5%
実施していない	11.5%	38.5%	19.2%	7.7%	15.4%	7.7%



④地域の治安や防災など生活環境への影響への配慮、対策を行っている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の治安や防災など生活環境への影響への配慮、対策を行っている」傾向にある。

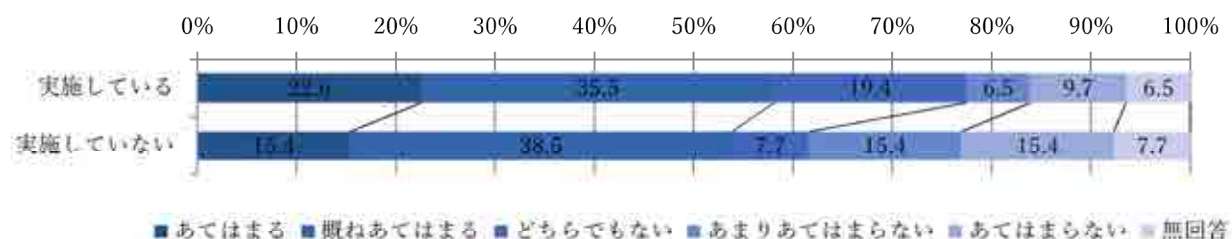
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	14.0%	31.6%	21.1%	8.8%	15.8%	8.8%
実施している	16.1%	32.3%	19.4%	12.9%	12.9%	6.5%
実施していない	11.5%	30.8%	23.1%	3.8%	19.2%	11.5%



⑤地域の歴史や文化・祭事を守り伝えるための取組を行っている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の歴史や文化・祭事を守り伝えるための取組を行っている」傾向にある。

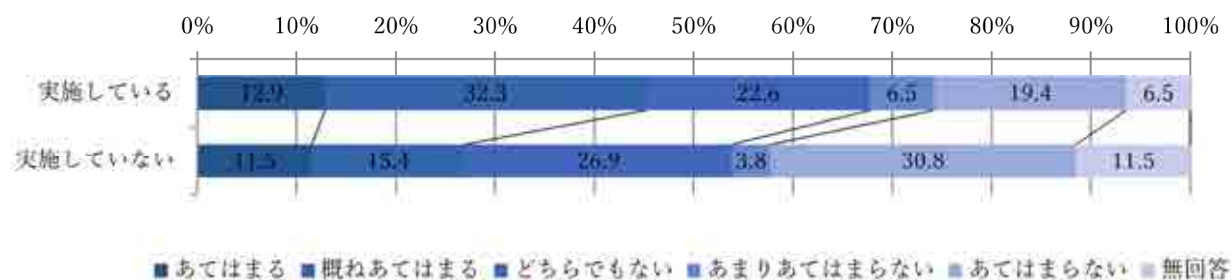
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	19.3%	36.8%	14.0%	10.5%	12.3%	7.0%
実施している	22.6%	35.5%	19.4%	6.5%	9.7%	6.5%
実施していない	15.4%	38.5%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%



⑥地域の文化資源（有形無形の文化財、遺産）を守るための取組（立ち入りの配慮など）を行っている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の文化資源（有形無形の文化財、遺産）を守るための取組（立ち入りの配慮など）を行っている」傾向にある。

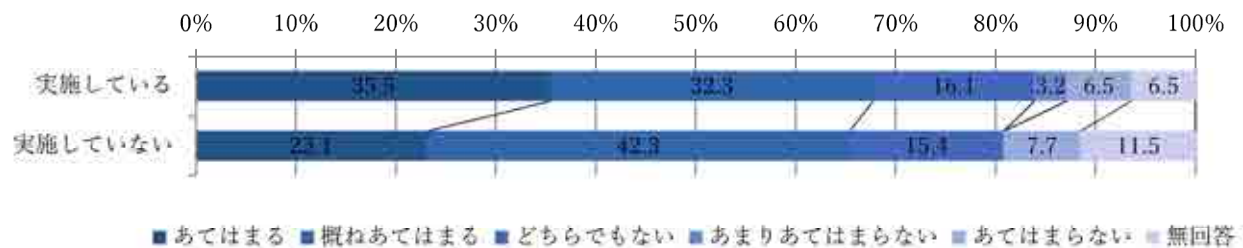
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	12.3%	24.6%	24.6%	5.3%	24.6%	8.8%
実施している	12.9%	32.3%	22.6%	6.5%	19.4%	6.5%
実施していない	11.5%	15.4%	26.9%	3.8%	30.8%	11.5%



⑦地域の自然環境への配慮を行っている

渚泊実施地域の方が、そうでない地域に比べて、「地域の自然環境への配慮を行っている」傾向にある。

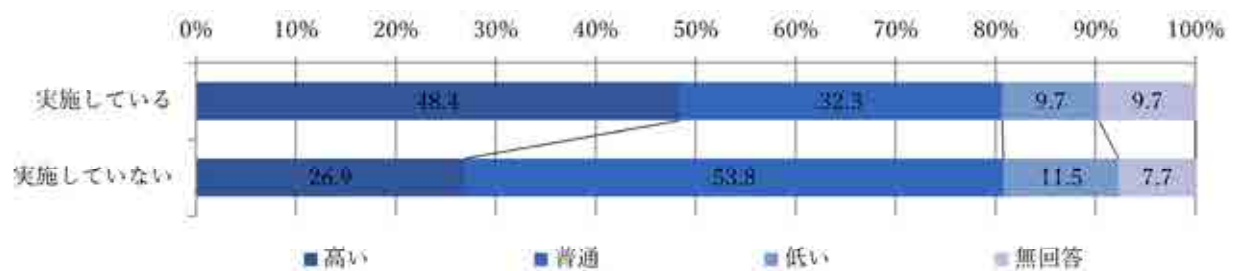
%	あてはまる	概ねあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
総数	29.8%	36.8%	15.8%	1.8%	7.0%	8.8%
実施している	35.5%	32.3%	16.1%	3.2%	6.5%	6.5%
実施していない	23.1%	42.3%	15.4%	0.0%	7.7%	11.5%



⑧総合的な地域との関連レベル

渚泊実施地域の方がそうでない地域に比べて「地域との関連レベル」が高いため、より地域との関連の度合いが高い取組を行っている傾向にあるといえる。

%	高い	普通	低い	無回答
総数	38.6%	42.1%	10.5%	8.8%
実施している	48.4%	32.3%	9.7%	9.7%
実施していない	26.9%	53.8%	11.5%	7.7%



《地域との関連レベルの分類方法》

地域との関連レベル	分類方法
高い	地域との関連についての7つの質問（p. 23 V（2） 1～p. 25 V（2） 7）において、「あてはまる」「概ねあてはまる」と回答した数が5つ以上
普通	上記以外
低い	地域との関連についての7つの質問（p. 23 V（2） 1～p. 25 V（2） 7）において、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した数が5つ以上

「組織運営レベル(高い・普通・低い)」と「交流における問題点への対策」の相関

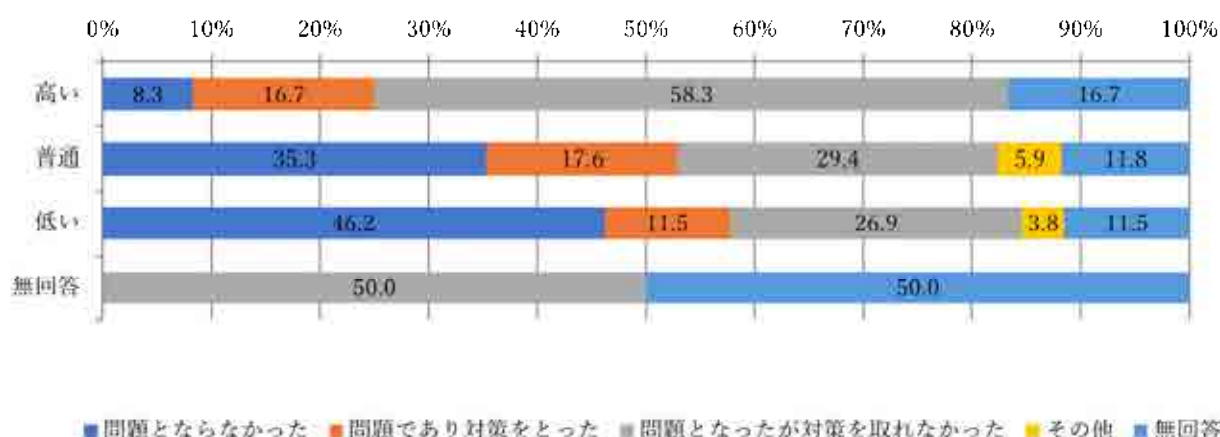
※組織運営レベルの分類方法は、p. 36 を参照

①漁業体験や釣り体験などのサービス利用者が減少した

組織運営レベルが高い地域ほど、「問題となったが対策を取れなかった」割合が高い。組織運営レベルが高い地域ほど対策が取れているとは言えず、どの地域も利用者減少への対策が困難であると考えられる。

※「問題とならなかった」には、漁業体験や釣り体験などのサービスを行っていない場合も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	33.3%	14.0%	35.1%	3.5%	14.0%
高い	8.3%	16.7%	58.3%	0.0%	16.7%
普通	35.3%	17.6%	29.4%	5.9%	11.8%
低い	46.2%	11.5%	26.9%	3.8%	11.5%
無回答	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

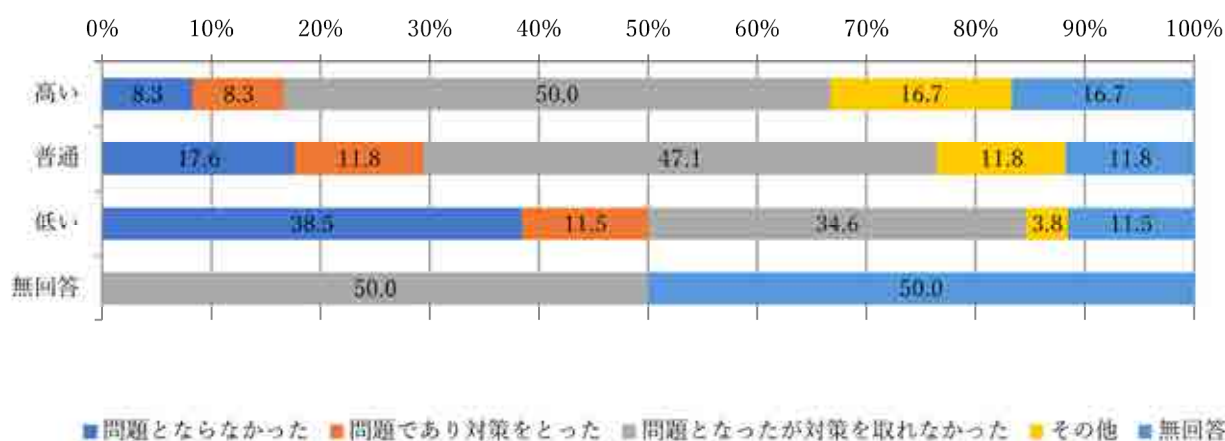


②漁港や地域での鮮魚市などのイベントが中止となった

組織運営レベルが高い地域ほど、「問題となったが対策を取れなかった」割合がやや高い傾向にある。「組織運営レベルの高低」によらず、どの地域においても同様に問題が顕在化している。

※「問題とならなかった」には、漁港や地域での鮮魚市などのイベントを行っていない場合も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	24.6%	10.5%	42.1%	8.8%	14.0%
高い	8.3%	8.3%	50.0%	16.7%	16.7%
普通	17.6%	11.8%	47.1%	11.8%	11.8%
低い	38.5%	11.5%	34.6%	3.8%	11.5%
無回答	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

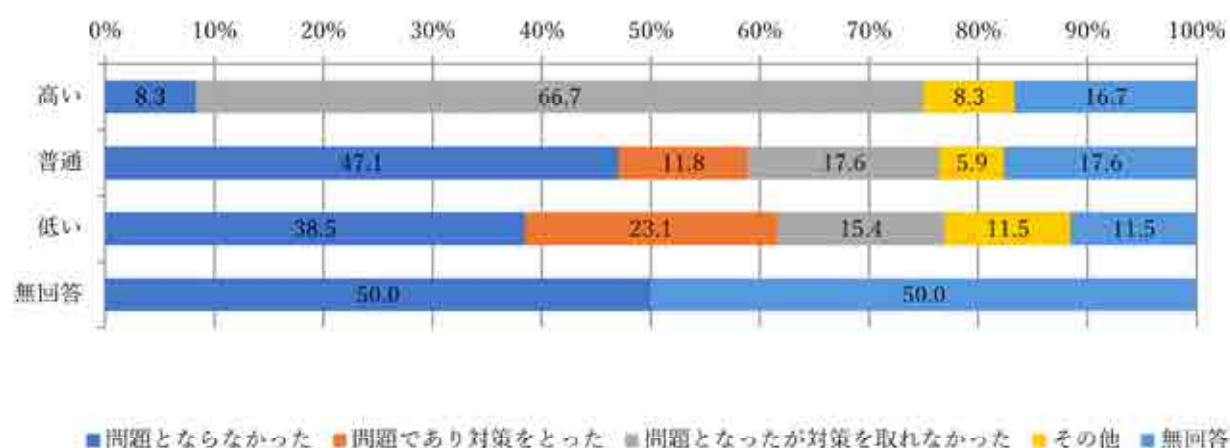


③水産物直売所や地域の鮮魚店への観光来訪者が減少した

組織運営レベルが高い地域は、そうでない地域と比較して「問題となったが対策を取れなかった」割合が高い。組織運営レベルが高い地域ほど対策が取れているとは、言えず、むしろ組織運営レベルが低い地域の方が、「問題であり対策をとった」割合が高い。

※「問題とならなかった」には、水産物直売所や地域の鮮魚店を有していない場合も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	35.1%	14.0%	26.3%	8.8%	15.8%
高い	8.3%	0.0%	66.7%	8.3%	16.7%
普通	47.1%	11.8%	17.6%	5.9%	17.6%
低い	38.5%	23.1%	15.4%	11.5%	11.5%
無回答	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

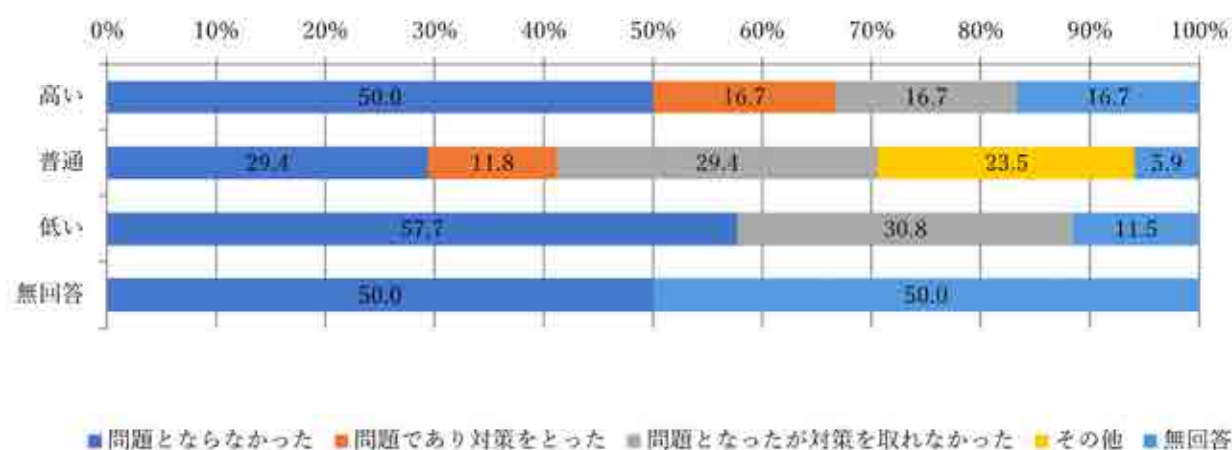


④修学旅行など教育旅行が中止となった

組織運営レベルが高い地域は、そうでない地域と比較して「問題であり対策をとった」割合が高く、「問題となったが対策を取れなかった」割合が低い。
したがって、組織運営レベルが高い地域ほど、やや対策が取れていた傾向があると言える。

※「問題とならなかった」には、「教育旅行を行っていない場合」や、「教育旅行先の変更などによって、かえって旅行者数が増加した場合」も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	47.4%	7.0%	26.3%	7.0%	12.3%
高い	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%
普通	29.4%	11.8%	29.4%	23.5%	5.9%
低い	57.7%	0.0%	30.8%	0.0%	11.5%
無回答	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%



「地域との関連レベル(高い・普通・低い)」と「交流における問題点への対策」の相関

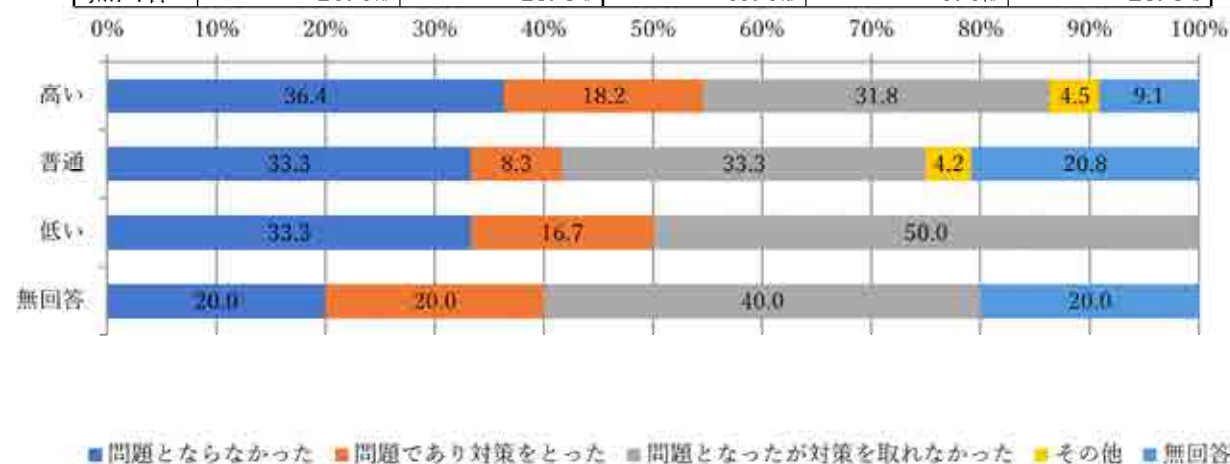
※地域との関連レベルの分類方法は、p. 42を参照

①漁業体験や釣り体験などのサービス利用者が減少した

地域との関連レベルが低い地域は、「問題となったが対策を取れなかった」割合が高い。地域との関連レベルが高い地域ほど対策が取れているとは言えない。

※「問題とならなかった」には、水産物直売所や地域の鮮魚店を有していない場合も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	33.3%	14.0%	35.1%	3.5%	14.0%
高い	36.4%	18.2%	31.8%	4.5%	9.1%
普通	33.3%	8.3%	33.3%	4.2%	20.8%
低い	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
無回答	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%

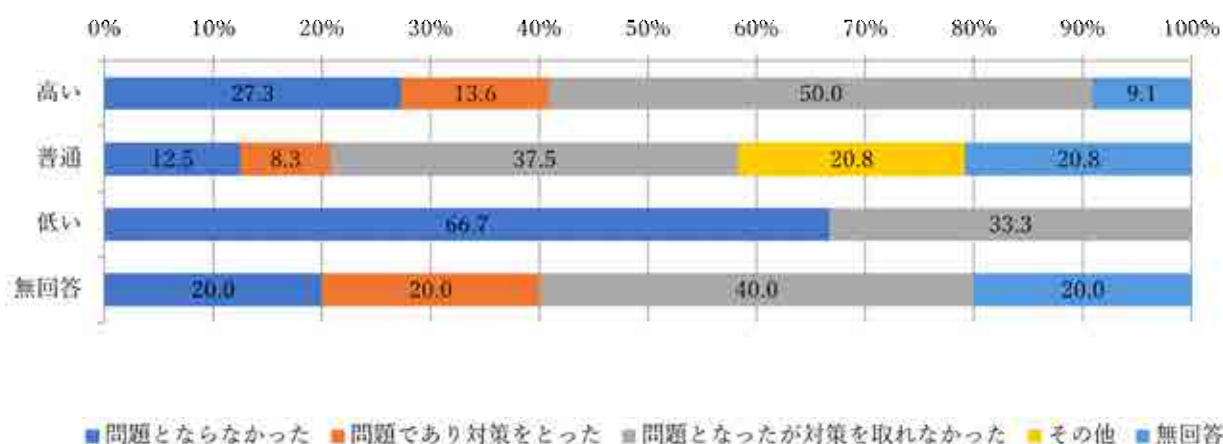


②漁港や地域での鮮魚市などのイベントが中止となった

地域との関連レベルが低い地域は、「問題とならなかった」割合が高い。また、地域との関連レベルが高い地域ほど、「問題であり対策をとった」および「問題となったが対策を取れなかった」割合が高く、問題が顕在化していたと考えられる。

※「問題とならなかった」には、漁港や地域での鮮魚市などのイベントを行っていない場合も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	24.6%	10.5%	42.1%	8.8%	14.0%
高い	27.3%	13.6%	50.0%	0.0%	9.1%
普通	12.5%	8.3%	37.5%	20.8%	20.8%
低い	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%

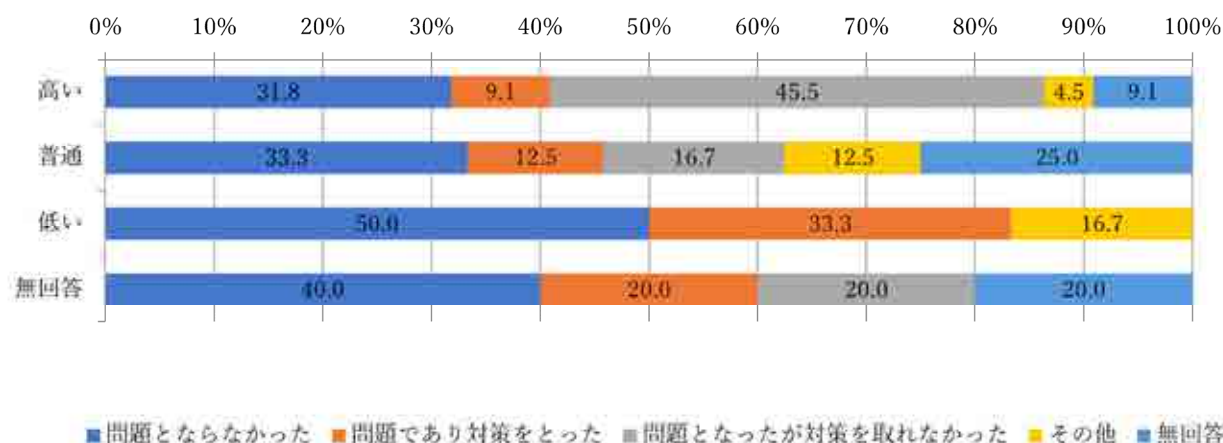


③水産物直売所や地域の鮮魚店への観光来訪者が減少した

地域との関連レベルが高い地域は、そうでない地域と比較して「問題となったが対策を取れなかった」割合が高い。地域との関連レベルが高い地域ほど対策が取れているとは言えず、むしろ地域との関連レベルが低い地域の方が、「問題であり対策をとった」割合が高い。

※「問題とならなかった」には、水産物直売所や地域の鮮魚店を有していない場合も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	35.1%	14.0%	26.3%	8.8%	15.8%
高い	31.8%	9.1%	45.5%	4.5%	9.1%
普通	33.3%	12.5%	16.7%	12.5%	25.0%
低い	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
無回答	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%



①修学旅行など教育旅行が中止となった

地域との関連レベルが高い地域は、そうでない地域と比較して「問題であり対策をとった」割合がやや高く、「問題となったが対策を取れなかった」割合がやや低い。しかしながら、「地域との関連レベルが高い地域ほど、わずかに対策が取れていた傾向がある」と示せるほどの明確な相関関係があるとは言い難い。

※「問題とならなかった」には、「教育旅行を行っていない場合」や、「教育旅行先の変更などによって、かえって旅行者数が増加した場合」も含まれていることに留意する必要がある。

%	問題とならなかった	問題であり対策をとった	問題となったが対策を取れなかった	その他	無回答
総数	47.4%	7.0%	26.3%	7.0%	12.3%
高い	59.1%	13.6%	18.2%	0.0%	9.1%
普通	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%
低い	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%

